

# 官報

號外 昭和十五年三月二十五日

## ○第七十五回貴族院議事速記錄第二十六號

昭和十五年三月二十四日(日曜日)午前十時  
二十四分開議

議事日程 第二十六號

昭和十五年三月二十四日  
午前十時開議

- 第一 請願委員長報告
- 第二 木炭需給調節特別會計法案(政府提出、衆議院送付)
- 第三 農產物検査法案(政府提出、衆議院送付)
- 第四 日本輸出農產物株式會社法案(政府提出、衆議院送付)
- 第五 昭和十三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第六 昭和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第七 昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第八 昭和十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第九 昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第十 昭和十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)
- 第十一 昭和十四年度特別會計豫備金

外豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

- 第十二 昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法案(政府提出、衆議院送付)
- 第十三 昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第十四 職員健康保險特別會計法案(政府提出、衆議院送付)
- 第十五 作業會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第十六 造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第十七 昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第十八 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第十九 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第二十 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

- 第二十一 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十二 政府出資特別會計法案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十三 陸軍航空工廠資金特別會計法案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十四 資金特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十五 昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十六 樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十七 樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十八 陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第二十九 市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第三十 現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
- 第三十一 職業紹介法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第三十二 日本肥料株式會社法案(政府提出、衆議院送付)

- 第三十三 鑛業被害耕地ノ復舊整理助成ニ關スル請願
- 第三十四 豫定線三股、上川間鐵道速成ノ請願
- 第三十五 豫定線鶴岡、大島間鐵道速成ノ請願
- 第三十六 東武鐵道東上線買收ノ請願
- 第三十七 長門鐵道西市驛ヨリ山口縣油谷灣又ハ仙崎港ニ至ル鐵道敷設ノ請願
- 第三十八 北海道札幌市ニ少年審判所及矯正院設置ノ請願
- 第三十九 西日本早害救濟ニ關スル請願
- 第四十 總武本線錦糸町驛ノ操車線路撤去ニ關スル請願
- 第四十一 國道六號線中ノ改良工事繼續事業ニ關スル請願
- 第四十二 東北本線宇都宮、青森間複線敷設ノ請願
- 第四十三 工場、鑛山ニ婦人監督官並女子勞務係採用ニ關スル請願
- 第四十四 直江津港ヲ第二種重要港灣編入ニ關スル請願
- 第四十五 中央本線木曾福島、高山本線久々野兩驛間ヲ鐵道豫定線ニ編入ノ請願
- 第四十六 石狩川治水事業促進ニ關スル請願
- 第四十七 石狩川架橋ニ關スル請願
- 第四十八 小樽港三基埠頭築設促進ニ關スル請願
- 第四十九 北海道高島漁港築設ニ關スル請願
- 第五十 小樽港臨港工業地域造成ニ關スル請願

明治二十五年三月三十一日  
第三種郵便物認可

- 第五十一 國民健康保險組合ニ國庫補助金増額ノ請願 會
- 第五十二 小樽港ノ鐵道省第二期計畫促進ニ關スル請願 會
- 第五十三 北海道雨龍郡沼田村ニ國有種牡馬種付所設置ノ請願 會
- 第五十四 栃木、茨城兩縣ヲ貫流スル田川改修工事國庫補助ノ請願 會
- 第五十五 岩手縣閉伊川上流並支流改修ニ關スル請願 會
- 第五十六 岩手縣盛岡市、横黒線陸中川尻驛間ニ省營自動車運輸開始ノ請願 會
- 第五十七 岩手縣二戸郡福岡町、九戸郡久慈町間ニ省營自動車運輸開始ノ請願 會
- 第五十八 江差線江差、瀨棚線瀨棚ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願 會
- 第五十九 造林國策樹立實施ニ關スル請願 會
- 第六十 市町村立小學校教員加俸令中改正ニ關スル請願 會
- 第六十一 國民學校初等科第一學年ヨリ毛筆習字ヲ課スルノ請願 會
- 第六十二 鳥取縣千代川改修區域ニ關スル請願 會
- 第六十三 國道四號線中改良ノ請願 會
- 第六十四 高知縣久万川改修ニ關スル請願 會
- 第六十五 山口縣玖珂郡柳井町ニ區裁判所設置ノ請願 會
- 第六十六 二戸區裁判所ニ專屬ノ判事ヲ置クノ請願 會
- 第六十七 豫定線一戸、荒屋間鐵道速成ノ請願 會
- 第六十八 宮崎縣油津港ニ稅關監視署設置ノ請願 會
- 第六十九 福島縣日橋川改修並水門閉閉權ニ關スル請願 會

第七十 島根縣高津漁港修築ノ請願 會  
 第七十一 北海道函館港ニ港務部設置ノ請願 會  
 第七十二 鷄卵ノ適正價格並養鷄飼料ニ關スル請願 會

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ  
 (右橋書記官朗讀)  
 昨二十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

恩給法中改正法律案  
 同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル豫定線釜石、盛岡鐵道速成ノ請願外二十五件ノ請願ハ各、意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
 昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書  
 昭和十二年法律第八十四號中改正法律案可決報告書  
 職員健康保險特別會計法案可決報告書  
 作業會計法中改正法律案可決報告書  
 造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案可決報告書  
 昭和十三年法律第五十三號中改正法律案可決報告書  
 臺灣事業公債法中改正法律案可決報告書  
 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案可決報告書  
 朝鮮事業公債法中改正法律案可決報告書  
 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案可決報告書  
 政府出資特別會計法案可決報告書  
 陸軍航空工廠資金特別會計法案可決報告書  
 金資金特別會計法中改正法律案可決報告書

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案可決報告書  
 樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書  
 樺太地方鐵道補助法中改正法律案可決報告書  
 市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案可決報告書  
 現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案可決報告書  
 陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特別ニ關スル法律案可決報告書  
 昭和十三年度第一豫備金支出ノ件、昭和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件、昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件、昭和十四年度第二豫備金支出ノ件、昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件、昭和十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件、昭和十四年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書  
 日本肥料株式會社法案可決報告書  
 同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ  
 木炭需給調節特別會計法案  
 農產物檢查法案  
 日本輸出農產物株式會社法案  
 一昨二十二日議員ヨリ左ノ質問主意書ヲ提出セリ依テ昨二十三日之ヲ政府ニ轉送セリ  
 度量衡法改正ニ關スル質問主意書(公爵島津忠重君外二十七名提出)

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、請願委員長報告  
 委員長堀田伯爵  
 (伯爵堀田正恒君演壇ニ登ル)  
 ○伯爵堀田正恒君 請願委員會ノ第三回報告ヲ申上ゲマス、即チ去ル四月ノ第二回報告後ニ於キマスモノノ御報告デゴザイマス、委員會開會數ハ三回デ、三月八日ト十五日ト二十二日デアリマス、分科會開會數

八十二回デアリマス、即チ第一分科會ハ三回、三月四日、十一日、十八日、第二分科會ハ三回、三月五日、十二日、十九日、第三分科會ハ三回、三月四日、十一日、十八日、第四分科會ハ三回、三月五日、十二日、十九日デアリマス、請願文書表報告ハ三回、其ノ第六回報告ハ三月六日、第七回報告ハ三月十三日、第八回報告ハ三月二十日デアリマス、請願委員會特別報告ハ三回デアリマシテ、其ノ第四號ハ三月八日、第五號ハ三月十五日、第六號ハ三月二十二日デアリマス、請願書受領件數四百六十六件、右請願連署人數七千九百七十三名デアリマス、右四百六十六件ト、第二回報告ノ際申上ゲマシタ中請願文書表未掲載ノモノ十五件トノ合計百六十一件ノ中、文書表ニ掲載セルモノガ百五十二件、文書表ニ掲載セザルモノガ九件デアリマス、審査ニ付キマシテハ、右百五十二件ト、第二回報告ノ際申上ゲマシタ中請願文書表ニ掲載ノ分ニシテ尙審査結了ニ至ラザルモノニ付慎重審査ノ結果、議院ノ會議ニ付スベシトスルモノ百六十六件、議院ノ會議ニ付スルヲ要セズトスルモノガ五十九件、第九號、文書表第四十七號、第八十九號、第一百號、第一百十四號及ビ第一百十六號デアリマス、以上ノ御報告ト第二回迄ノ御報告トノ合計ヲ申上ゲマス、委員會ノ開會數ハ七回、分科會ノ開會數ハ二十回、此ノ内第一分科會五回、第二分科會五回、第三分科會六回、第四分科會四回デアリマス、請願文書表報告ハ八回、請願委員會特別報告ガ六回、請願書受領件數二百五十七件、請願連署人數八萬九千九百八十四名、請願文書表ニ掲載ノモノ二百四十八件、請願文書表ニ未掲載ノモノ九件デアリマス、審査ノ結果ハ、議院ノ會議ニ付スベシトスルモノ百三十一件、議院ノ會議ニ付スルヲ要セズトスルモノ七件デアリマス、以上ハ昭和十五年三月二十三日迄ノ御報告デアリマス

○議長(伯松平頼壽君) 日程第二、木炭需給調節特別會計法案 日程第三、農產物検査法案 日程第四、日本輸出農產物株式會社法案 政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ三案ハ之ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○議長(伯松平頼壽君) 御異議ナシト認メマス、木村大藏政務次官

(左ノ送付文及法案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ)  
木炭需給調節特別會計法案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和十五年三月二十三日  
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯松平頼壽殿  
木炭需給調節特別會計法案  
木炭需給調節特別會計法

第一條 木炭ノ需給ノ調節ノ爲政府ノ行フ木炭ノ買入、賣渡又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ之ヲ一般會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス  
第二條 本會計ニ据置運轉資本ヲ置キ其ノ金額ハ百萬圓トシ一般會計ヨリ繰入ルルモノトス

第三條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ金額ハ七百萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ  
第四條 本會計ニ於テハ木炭ノ賣渡代金、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ木炭ノ買入代金、木炭ノ買入賣渡貯藏及運搬ニ關スル諸費、借入金ノ償還金及利子、一時借入金ノ利子其ノ他諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第五條 本會計ノ歳出額ハ其ノ實際ノ歳入及据置運轉資本ノ合計額ヲ超過スルコトヲ得ズ  
第六條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルベシ  
第七條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ  
第八條 本會計ニ於テ決算上過剩ヲ生ジタルトキハ之ヲ翌年度ノ歳入ニ繰入ルベシ  
第九條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ  
第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則  
本法ハ昭和十五年度ヨリ之ヲ施行ス  
農產物検査法案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和十五年三月二十三日  
衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯松平頼壽殿  
農產物検査法案  
農產物検査法

第一條 米穀其ノ他ノ農產物ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ種別、品位、量目又ハ包裝ニ付政府ノ行フ検査ヲ受ケタルモノニ非ザレバ之ヲ受渡シ又ハ第二號ノ地域ニ搬入スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノラズ  
一 該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ  
一 内地以外ノ地域ニ於テ生産セラレタルコト明ナルモノ  
二 主務大臣ノ指定スル地域内ニ在ルモノ

三 災害ニ因リ検査ヲ免除セラレタルモノ  
四 其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ  
本法ニ於テ受渡トハ賣買其ノ他命令ヲ以テ定ムル事由ニ因リ授受ヲ謂フ  
第二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條第一項ノ規定スル農產物以外ノ農產物ノ検査ヲ行フコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ検査ヲ行フ農產物ニ付テハ命令ヲ以テ其ノ検査ヲ受ケザルモノノ授受又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得  
第三條 前二條ノ規定ニ依ル検査ノ手續料ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第四條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル検査ヲ受ケタル農產物ニ一定ノ印章、記號及證票ヲ附ス  
前項ノ印章、記號又ハ證票ヲ抹消シ、除却シ又ハ隠蔽シタル農產物ハ之ヲ本法ニ依ル検査ヲ受ケザルモノト看做ス  
第五條 行政官廳取締上必要アリト認ムルトキハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ本法ニ依リ検査ヲ行フ農產物ノ生産者、取引業者、倉庫業者、運送業者其ノ他占有者ニ對シ質問ヲ爲シ又ハ其ノ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ其ノ帳簿書類、農產物其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帯スベシ  
第六條 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ農產物ヲ受渡シ又ハ搬入シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス  
第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス  
一 第五條ノ規定ニ依リ當該官吏若ハ吏員ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ臨檢検査

ヲ拒ミ、妨若ハ忌避シタル者  
二 不正ノ手段ニ依リ検査ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者  
第八條 農產物ノ生産者、取引業者、倉庫業者、運送業者其ノ他占有者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第六條又ハ前條第二號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ  
第九條 第六條及第七條第二號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス  
但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第一條第一項ニ規定スル農產物ニシテ從前廳府縣令ニ依ル農產物検査ヲ受ケ道府縣ノ區域外ニ移出スルコトヲ得ルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ同項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタルモノト看做ス  
農產物検査ニ關スル廳府縣令ニ依リ前項ノ農產物ニ附シタル印章、記號及證票ハ之ヲ第四條ノ印章、記號及證票ト看做ス  
日本輸出農產物株式會社法案  
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
昭和十五年三月二十三日  
衆議院議長 小山 松壽  
貴族院議長伯松平頼壽殿

(小字ハ衆議院ノ修正)  
日本輸出農產物株式會社法案  
日本輸出農產物株式會社法

第一條 日本輸出農產物株式會社ハ政府ノ指定スル農產物(以下指定農產物ト

稱ス)ノ集荷及配給ノ統制ヲ圖ル爲必  
要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株  
式會社トス

第二條 日本輸出農産物株式會社ノ資本  
ハ一千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ  
テ之ヲ増加スルコトヲ得

第三條 日本輸出農産物株式會社ノ株式  
ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣  
民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ  
業務ヲ執行スル役員ノ半數以上、資本  
ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國  
人若ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限リ  
之ヲ所有スルコトヲ得

第四條 政府ハ五百萬圓ヲ限リ日本輸出  
農産物株式會社ニ出資スベシ  
政府所有ノ株式ノ株金拂込ハ其ノ他ノ  
株式ノ株金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ  
得

第五條 日本輸出農産物株式會社ニ非ザ  
ルモノハ日本輸出農産物株式會社又ハ  
之ニ類似ノ名稱ヲ以テ其ノ商號ト爲ス  
コトヲ得ズ

第六條 日本輸出農産物株式會社ニ役員  
トシテ社長副社長各一人、理事三人以  
上及監事二人以上ヲ置ク

第七條 社長ハ日本輸出農産物株式會社  
ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス  
副社長ハ社長事故アルトキハ其ノ職務  
ヲ代理シ社長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ  
行フ

第八條 社長及副社長ハ政府之ヲ命ジ其  
ノ任期ヲ四年トス  
理事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ政府  
ノ認可ヲ受クルモノトシ其ノ任期ヲ三  
年トス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ  
任期ヲ二年トス  
輸出農産物ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者  
ハ其ノ職ヲ退キタル後五年間日本輸出農産  
物株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主  
務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ  
ハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 社長、副社長及理事ハ他ノ職務  
又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ政  
府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在  
ラズ

第十條 日本輸出農産物株式會社ハ左ノ  
事業ヲ營ムモノトス  
一 指定農産物ノ買入及販賣  
二 指定農産物ノ出荷ニ必要ナル資材  
ノ配給  
三 指定農産物ノ加工ノ委託  
四 前三號ノ事業ニ附帶スル事業  
五 其ノ他本會社ノ目的達成上必要ナル  
事業

日本輸出農産物株式會社前項第四號又  
ハ第五號ノ事業ヲ營マントスルトキハ  
政府ノ認可ヲ受クベシ  
日本輸出農産物株式會社ハ政府ノ認可  
ヲ受クルニ非ザレバ其ノ事業ノ全部又  
ハ一部ヲ廢止シ又ハ休止スルコトヲ得  
ズ

第十一條 日本輸出農産物株式會社ハ每  
營業年度ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ  
補フ爲利益金額ノ百分ノ八以上ヲ積立  
ツベシ

第十二條 日本輸出農産物株式會社ハ每  
營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金  
額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂  
込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割  
合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對  
シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ  
日本輸出農産物株式會社ノ每營業年度  
ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府  
以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル

株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過ス  
ル場合ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル  
株式ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超エ利  
益配當ヲ爲サントスルトキハ其ノ超過  
スル利益金額ハ利益配當ガ總株式ニ付  
拂込ミタル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ  
達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式  
ノ拂込ミタル株金額及政府ノ所有スル  
株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一ト三  
トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第十三條 政府ハ日本輸出農産物株式會  
社ノ業務ヲ監督ス  
第十四條 日本輸出農産物株式會社社債  
ヲ募集セントスルトキ又ハ借入金ヲ爲  
サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベ  
シ

第十五條 日本輸出農産物株式會社ノ定  
款ノ變更、利益金ノ處分、合併及解散  
ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレ  
バ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十六條 日本輸出農産物株式會社ハ每  
營業年度ノ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可  
ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦  
同ジ

第十七條 政府ハ日本輸出農産物株式會  
社ニ對シ指定農産物ノ集荷又ハ配給ノ  
統制上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得  
政府ハ日本輸出農産物株式會社ニ對シ  
其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲  
サシメ、檢査ヲ爲シ其ノ他監督上必要  
ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條 政府ハ日本輸出農産物株式會  
社ノ業務ヲ監視セシム  
日本輸出農産物株式會社監督官ハ何時  
ニテモ日本輸出農産物株式會社ノ帳簿  
書類、金庫其ノ他ノ物件ヲ檢査スルコ  
トヲ得  
日本輸出農産物株式會社監督官必要ト  
認ムルトキハ何時ニテモ日本輸出農産

物株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ  
計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得  
日本輸出農産物株式會社監督官ハ株主  
總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ  
陳述スルコトヲ得

第十九條 政府ハ日本輸出農産物株式會社  
ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ  
基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ  
公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ  
取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第二十條 政府ハ日本輸出農産物株式會  
社ノ集荷ノ統制上必要アリト認ムルト  
キハ指定農産物ノ生産(加工ヲ含ム以  
下同ジ)又ハ販賣ヲ爲ス者ニ對シ指定  
農産物ノ生産又ハ販賣ニ關シ必要ナル  
命令ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ニ掲グル者ニ對シ其ノ業務  
及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ又  
ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ檢査ヲ爲ス  
コトヲ得

第二十一條 第十七條第一項又ハ前條第  
一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者  
ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス  
第二十二條 第二十條第二項ノ規定ニ依  
ル報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ  
タル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス  
第二十條第二項ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒  
ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者亦前項ニ同  
ジ

第二十三條 法人又ハ人ノ代理人、戶主  
家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ  
其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第二十一  
條又ハ前條第一項ノ違反行爲ヲ爲シタ  
ルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮  
ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ル  
ルコトヲ得ズ  
第二十四條 第二十一條及第二十二條第  
一項ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ  
理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執  
行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者

ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條 日本輸出農産物株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ社長又ハ社長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副社長ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス副社長又ハ理事ノ分業業務ニ係ルトキハ副社長又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

一 本法ニ依リ認可ヲ受ケザルトキ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ  
二 第十條ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ  
三 第十七條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

第二十六條 日本輸出農産物株式會社ノ社長、副社長又ハ理事第九條ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス  
第二十七條 第五條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則  
第二十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第二十九條 政府ハ設立委員ヲ命ジ日本輸出農産物株式會社ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム  
第三十條 設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受ケベシ

第三十一條 前條ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ株式總數ヨリ政府ニ割當ツベキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集セシム  
第三十二條 株式申込證ニハ定款認可ノ年月日並ニ商法第七十五條第二項第一號及第四號乃至第七號ニ規定スル事項ヲ記載セシム  
第三十三條 設立委員株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ政府ニ提出シ

其ノ検査ヲ受ケベシ  
第三十四條 設立委員ハ前條ノ検査ヲ受ケタル後遲滞ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ  
前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク創立總會ヲ召集セシム

第三十五條 創立總會ニ於テハ第八條ノ規定ニ準ジ理事及監事ノ選任ヲ行フベシ  
第三十六條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本輸出農産物株式會社社長ニ引渡スベシ  
第三十七條 商法第六十七條、第六十八條及第八十五條ノ規定ハ日本輸出農産物株式會社ノ設立ニハ之ヲ適用セズ

第三十八條 本法施行ノ際現ニ日本輸出農産物株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱ヲ以テ商號ト爲ス會社ハ本法施行後六月以内ニ其ノ商號ヲ變更スルコトヲ要ス  
第五條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲グル者ニ適用セズ

○政府委員木村正義君演壇ニ登ル  
○政府委員(木村正義君) 只今議題トナリマシタ木炭需給調節特別會計法案提出ノ理由ヲ説明致シマス、木炭ノ需給調節ノ爲、政府ニ於テ行フ木炭ノ買入、賣渡又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ、之ヲ一般會計ト區分シテ經理スルノ適當ト認メマスル處、之ガ爲ニハ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアリマス、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 島田農林大臣(國務大臣島田俊雄君) 農産物検査法案  
○國務大臣(島田俊雄君) 農産物検査法案竝ニ日本輸出農産物株式會社法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ申上ゲタイト存ジマス、先ツ農産物検査法案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ申上ゲマス、米穀其ノ他ノ農産物檢

査事業ハ、現在各道府縣ニ於キマシテ施行シテ居リマス關係上、検査ノ統一及ビ的確ヲ期スルコトガ困難ナル實情ニアルノデアリマス、從ツテ農産物検査ノ國營ハ、屢々各方面カラ要望ガアリ、帝國議會ニ於キマシテモ、其ノ趣旨ニ於ケル決議又ハ建議等モアツタ次第デアリマス、政府ニ於キマシテモ之ヲ實施スルノ方針ヲ以チマシテ、準備ヲ進メテ參ツタデアリマス、殊ニ最近ニ於ケル米穀等ニ關スル諸政策運用ノ爲ニモ、是非國營検査ノ實施ヲ必要トスルニ至リマシタノデ、此ノ度必要經費ヲ豫算ニ計上シ、米穀其ノ他ノ重要農産物ニ付國營検査ヲ實施スル爲、本法案ヲ提出スルコトニ致シタノデアリマス、本法案ノ骨子ト致シマス所ハ、米穀其ノ他ノ重要農産物ノ規格ノ統一、取引ノ圓滑ヲ圖ル爲、検査ノ公正的確ヲ期スルコトヲ本旨ト致シマシテ、總テ政府ノ行フ検査ヲ受ケタルモノニアラザレバ、之ヲ受渡シ又ハ主務大臣ノ指定スル地域ニ搬入スルコトヲ得ザルコトトシヨウトスルモノデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ申上ゲマス、次

ニ日本輸出農産物株式會社法案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、現下ニ於ケル輸出振興ノ重要性ニ鑑ミマシテ、農産物ノ輸出ヲ促進致シマスコトハ、極メテ重要ノコトデアリマス、然ルニ最近ニ於キマシテハ、輸出農産物中、特ニ我國ノ特産品トシテ除蟲菊、薄荷、豆類、茶種及茶種油等ニ付キマシテハ、國內ニ於ケル集荷ガ極メテ困難デアリマシテ、輸出ハ勿論、軍需其ノ他必要ナル方面ヘノ配給ガ、非常ニ不圓滑ナル状態ニ在ルノデアリマス、是ハ一面ニハ、是等農産物ニ對スル各方面ノ需要ガ増加シタコトニモ因ルト思ヘレマス、又一面ニ於キマシテハ、現在ノ國內取引事情ニ統一ヲ缺イテ居ルコトガ、ヨリ大ナル原因ヲ成シテ居ルモノト認メラル、ノデアリマス、從ツテ此ノ際ニ是等農産物ノ集荷ヲ統

制シ、其ノ出廻數量ヲ確保スルコトヲ極メテ緊要ト致ス次第デアリマス、以上ノ如キ理由カラ致シマシテ、是等農産物ノ中樞的集荷機關トシテ日本輸出農産物株式會社ヲ設立シマシテ、政府モ之ニ出資致シマシテ、是等農産物ノ集荷及ビ配給ノ統制上必要ナル事業ヲ行ハシメ、以テ數量ヲ確保スルコト共ニ、之ヲ輸出業者、其ノ他ノ必要ナル方面ニ圓滑ニ配給致シマス爲、茲ニ本法案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 質疑ノ御通告ガアリマス、此ノ發言ヲ御許シシマス、山隈康君  
(山隈康君演壇ニ登ル)  
○山隈康君 期日切迫ノ際デアリマスルカラ、極メテ簡單ニ御質疑ヲ申述ベタイト存ジマス、食糧問題ニ關シマシテハ、政府ハ種々御計畫ニ相成リ、之ト共ニ節米運動モ相當近時行渡ツテ居ルヤウデアリマス、此ノ爲ニ米穀食糧ニ關シ、國民ガ稍々安定ヲ致シマシタコトハ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマス、先般ノ私ノ質問ニ對スル大臣ノ御答辯、更ニ其ノ後新聞ノ傳ブル所ニ依リマスレバ、政府ハ道府縣知事ノ希望ニ依リ、政府米トシテ米ヲ買上ゲルコトガ出來ル、而シテ其ノ買上ゲルモノニ對シテハ、倉敷、金利ハ政府ガ之ヲ負擔スル、斯ウ云フコトヲ承知シテ居ルノデアリマス、是ハ全く時宜ニ適シタル御計畫ナリト存ズルノデアリマス、此ノ道府縣ガ政府米トシテ買入レマスル其ノ目的ヲ、今少シク明確ニシタイト存ズルノデアリマス、道府縣知事ノ希望ニ依ツテ政府米トシテ買上ゲマスルノハ、其ノ道府縣ニ最小限度必要ナル糧食ヲ確保スル目的ヲ以テ、此ノ買入ヲ御認ニ相成ルカドウカト云フ點デアリマス、近時各道府縣デハ往々此ノ政府買上米ニ對シテ疑問ヲ抱イテ居リマス、ソレハ

道府縣知事ノ希望ニ依テ、其ノ各道府縣デ買上ハ致シタモノ、元來ガ政府米デアアル爲ニ何時ニテモ政府ハ之ヲ引揚ゲル、斯クノ如クスレバ、地方ノ糧食ヲ確保スル途ニハ相成ラヌノデアアル、地方ハ更ニソレノノ計畫ヲ立テテ食糧問題ノ確保ニ努メネバナラス、ト云フヤウナ意見ヲ屢、承ルノデアアリマス、此ノ故ニ政府ノ確タル御説明ヲ拜聽シタイコトハ、第一ハ、道府縣ニ於テ最々小限度ニ必要ナル米穀ヲ政府米トシテ買上ガ、希望ノアルトキハ其ノ必要ノ限度ニ於テハ御許可ニ相成ルカト云フ點、モウツハ、其ノ政府米トシテ道府縣デ買入レマシタル米ハ、政府ノ指定シタル其ノ道府縣ノ倉庫ニ之ヲ留保シテ、其ノ道府縣ニ必要ナル米穀確保、糧食確保ノ爲ニ、其ノ儘留保スルコトヲ御認ニナルカドウカト云フ點デアリマス、斯クノ如ク致シマスレバ、各道府縣ハ、其ノ道府縣ニ必要ナル米穀ノ買入ヲ致シマシテ、サウシテソレヲ地方ニ留保シテ、其ノ各地ノ米穀食糧問題ヲ確保致シマスレバ、民心ハ安心ヲスルデアラウト存スルノデアリマス、先般ノ政府ノ御説明モ左様ナ趣旨ニ承テ居ルノデアリマス、ケレドモ、相當ニ對シテ疑問アリ不安アリ、更ニ種々ノ畫策ヲ地方デヤツテ居ルカニ取ルノデアリマス、此ノ際此ノ點ニ對シテ政府ノ御所信ヲ、更ニ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

ラレタヤウナ意味合ヲ以テ、不必要ト云フコトハナイノデアリマス、最低限度ノ必要以上ノモノヲ縣内ニ留メテ置クトカ云フヤウナ考ヘ方ヲシテ居ル向モアルノデアリマス、是等ニ對シマシテ、政府ト致シマシテハ、府縣ニ對シテ割當凡ソノ見當ヲ以テマシテ、サウシテ政府米ノ買上ヲ致シマシテ居ルノデアリマスガ、其ノ買上ヲ致シマシテ來ル必要ハナイノデアリマス、又其ノ縣ニ於キマシテモ、一應政府ニ買上ヲ致シテ居リマシテモ、又縣内ノ需給ノ關係カラ致シマシテ、縣内ニ於テ之ヲ供給シテ行カネバナラヌヤウナ事情モ起ツテ來ルノデアリマス、例ヘバ山口縣ナラ山口縣ニ付テ申シマスレバ、山口縣ニ於テハ外カラ寧ロ移入ヲシナケレバナラヌ事情ニアルケレドモ、縣内ノ事情カラ言ヒマス、ト云フト、或部分ハ政府ニ買上ガ、又外ノ地方ノ米ヲ入レテ差支ナイト云フヤウナ事情モアルノデアリマシテ、左様ナ場合ニ、政府ニ於テ買上ガレ場合ニ、政府米トシテ之ヲ買上ガテ賞フ、サウシテ必要ナル場合ニハ馬關トカサウ云フヤウナ市街地ノ消費地ニ對シテ之ヲ流シテ行カネバナラヌト云フ必要ガアル場合ニハ、ソレニ向ツテ拂下ヲ行ツテ行ク、斯ウ云フヤウナヤリ方ニナル場合ガアルノデアリマスガ、之ヲ政府米トシテ確保致シテ居リマセスト云フト、ソレガ他ノ事情ニ依ツテ政府ノ知レナイ方面ニ流レテ行キ、動イテ行クト云フヤウナ事情ガアリマシテ、全體ノ需給調節ノ上カラソコニ窮屈ヲ來スト云フ處ガアルノデアリマス、非常ニ米ノ剩リマスマスデアリマス、左様ナ必要モナイノデアリマス、今年ノ如キ事情ニ於テ、動モスレバ市街地即チ消費地ニ於キマシテ供給ニ不安ヲ感ズルヤウナ處ノアリマシテ、合ニハ、政府ニ於テ斯様ナ處置ヲ執ルコトガ適當デアアルト斯様ニ考ヘマシテ、從ツテ政府ガ買上ガマシタ米ニ付テハ、政府ニ所有權

ガ移リマスカラシテ、所有權ノ移ツタ以後ニ於キマシテハ、政府ガ倉敷其ノ他ノ費用ヲ負擔スルコトニナリマスカラ、ソコニ一面カラ申シマス、ト云フト、例ヘバ商人ガ或ハ値上リデモシハセヌカト云フ意味、デ米ヲ持ツテ居リマシテ、買溜ヲシテ居ルト假ニ致シマシテモ、左様ナモノニ對シテハ、時期ヲ經ルニ從ツテ倉敷、金利ト云フモノハ負擔ヲシナケレバナラヌカラシテ、米價ノ昂騰ノ見込ガナイト云フコトニナレバ、徒ニ金利、倉敷ヲ拂ツテ之ヲ持ツテ居ルト云フ不利益ナ状態ニアリマスカラシテ、自然ニ是ハ手放シテ行ク、手放シテ行ツタ數量ガ、政府ノ所有ニ歸シ自由ニ之ガ處分ガ出來テ、需給ノ調節ガ出來ルヤウナ位置ニ置カレマスレバ、ソレダケ米穀事情ト云フモノハ政府カラ見マシテ非常ニ運用ガ易ラカニナル次第デアリマシテ、之ヲ買上ガタ米ハ悉ク東京ヘ持ツテ來ル、大阪ヘ持ツテ來ル、消費地ヘ悉ク運シテ來ルト云フヤウナ誤解ノアル向ニ對シマシテハ、其ノ意味ヲ以テ是迄答辯ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其ノ點ハ只今御質問ノ中ニ御述ニナツタヤウナ趣意ヲ以テ實行シテ居ル次第デアリマスカラシテ、左様ニドウゾ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔右橋書記官朗讀〕  
木炭需給調節特別會計法案外二件特別委員  
侯爵井上 三郎君 侯爵黒田 長禮君  
伯爵黒木 三次君 子爵西大路吉光君  
子爵河瀬 眞君 子爵北條 雋八君  
松井 茂君 内田 重成君  
男爵小畑大太郎君 男爵前田 勇君  
男爵山中秀二郎君 宮田 光雄君  
赤池 濃君 大塚 惟精君  
中島徳太郎君 山上 岩二君  
佐藤助九郎君 上野喜左衛門君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第五、昭和十三年度第一豫備金支出ノ件、日程第六、昭和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件、日程第七、昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件、日程第八、昭和十四年度豫備金支出ノ件、日程第九、昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件、日程第十、昭和十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件、日程第十一、昭和十四年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、是等ノ七件ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認ママス、委員長桂公爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ〕  
昭和十三年度第一豫備金支出ノ件、昭和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件、昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件、昭和十四年度第二豫備金支出ノ件、昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件、昭和十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件、昭和十四年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件、右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

國務大臣(島田俊雄君) 只今ノ山隈君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、御質問中ニ御述ニナリマシタ意味ノ通りニ大體ヤツテ居ル積リデアリマス、是ハ度々申上ゲタカト存ジマス、昨年來ノ米穀事情ニ依リマシテ、動モスレバ不安ヲ氣分ガアリ、今日デハ餘程其ノ氣分ガ薄ライデ來テ居リマシテ、從ツテ殊更ニ米ヲ混藏スルト云フヤウナ傾向モ薄ライデ來タヤウニ感ゼラレマス、尙或ハ只今御質問中ニ申述ベ

○國務大臣(島田俊雄君) 只今ノ山隈君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、御質問中ニ御述ニナリマシタ意味ノ通りニ大體ヤツテ居ル積リデアリマス、是ハ度々申上ゲタカト存ジマス、昨年來ノ米穀事情ニ依リマシテ、動モスレバ不安ヲ氣分ガアリ、今日デハ餘程其ノ氣分ガ薄ライデ來テ居リマシテ、從ツテ殊更ニ米ヲ混藏スルト云フヤウナ傾向モ薄ライデ來タヤウニ感ゼラレマス、尙或ハ只今御質問中ニ申述ベ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認ママス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

昭和十五年三月二十三日

委員長 公爵桂 廣太郎  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
〔公爵桂廣太郎君演壇ニ登ル〕

○公爵桂廣太郎君 只今議題トナリマシタ  
昭和十三年度第一豫備金支出ノ件外六件、  
承諾ヲ求ムル件ノ特別委員會ニ於ケル審査  
ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、付託  
各件ニ付キマシテハ、過日ノ本會議ニ於テ  
説明ガゴザイマシタカラ省略シタイト存  
ジマス、本委員會ハ去ル二十、二十三ノ  
兩日ニ互リ開會致シマシタ、質疑應答ノ主  
ナルモノヲ申上ゲマスレバ、豫算ニ計上サ  
ルベキヤウナ性質ノモノガ、豫備金支  
サレテ居ルガ如何ナル譯カ、ト二三ノ委員  
ヨリ箇々ノ事項ニ付質問ガゴザイマシタ、  
是等ニ對シ政府ハ、ソレハ緊急已ムヲ得  
ナカシ事情ヲ説明サレマシタガ、ソレ等ノ  
詳細ハ速記録ニ依リ御承知願ヒタイト存  
ジマス、又一時速記録中止シテ懇談ノ種々  
問答ガゴザイマシタ、其ノ大意ハ、十四年  
度第二豫備金支出ノ中ニハ、行政機構ノ整  
備費ガ各所ニ互リ相當ニ多イガ、豫備金ヲ  
以テ官吏ヲ増員シ、大キナ行政機構ヲ造ル  
ト云フヤウナコトハ成ルベク避ケテ、最小限  
度ニ止メルベキデハナイカト云フ質問ニ對  
シ、政府ハ、豫算ノ本質ヨリ見レバ出來ル  
限リ豫算ニ計上スベキデアリ、其ノヤウニ  
致シタイノデアアルガ、緊急ヲ要スルモノヤ、  
經驗ノナカクヤウナモノモ出テ來ルノデ、  
其ノヤウナモノハ豫算ニ計上スルコトガ困  
難ナ場合ガ多ク、昨年ノ如キハ、非常ニ事  
務ガ輻輳シタシ、新タニ機構ヲ造リ、或ハ  
從來ノ機構ヲ擴充致スト云フコトガ、ドウ  
シテモ避ケ得ラレナカクヤウナ實情デアリ  
マシタノデ、最小限度ニ於テ之ガ支出ヲ認  
メルコトニシテ參事等ノ答辯ガゴザイマシ  
タ、次イデ討論ニ入りマシタガ、別段ノ發  
言モナク、採決ノ結果付託七件共、全會一  
致承諾スベキモノト議決セラレマシタ、簡

單デゴザイマスガ、以上御報告申上ゲマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ  
ケレバ、是等ノ七件ヲ一括シテ採決ヲ致シ  
マス、是等ノ七件ニ對シ、委員長ノ報告通り  
承諾ヲ與フルコトニ、御異議ゴザイマセヌカ  
メマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認  
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十二、昭  
和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲  
公債發行ニ關スル法律案、日程第十三、昭  
和十二年法律第八十四號中改正法律案、日  
程第十四、職員健康保險特別會計法案、日  
程第十五、作業會計法中改正法律案、日  
程第十六、洗滌局東京出張所ノ廳舎、工場其  
ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要  
スル經費ニ關スル法律案、日程第十七、昭  
和十三年法律第五十三號中改正法律案、日  
程第十八、臺灣官設鐵道用品資金會計法  
中改正法律案、日程第十九、朝鮮事業公債  
法中改正法律案、日程第二十、臺灣私設  
鐵道補助法中改正法律案、日程第二十一、陸  
軍航空工廠資金特別會計法案、日程第二十  
四、資金特別會計法中改正法律案、日程第  
二十五、昭和十三年法律第二十三號中改  
正法律案、日程第二十六、樺太鐵道株式會  
社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律  
案、日程第二十七、樺太地方鐵道補助法中  
改正法律案、日程第二十八、陸軍作業會計  
法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工  
廠資金會計法ノ臨時特別ニ關スル法律案、  
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委  
員長報告、是等ノ十七案ヲ、一括シテ議題  
ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ  
メマス、委員長西尾子爵

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認  
メマス、委員長西尾子爵

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認  
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認  
メマス

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日  
委員長 子爵西尾 忠方  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
報告候也

昭和十五年三月二十三日 委員長 子爵西尾 忠方

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

金資金特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年三月二十三日 委員長 子爵西尾 忠方

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年三月二十三日 委員長 子爵西尾 忠方

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年三月二十三日 委員長 子爵西尾 忠方

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

樺太地方鐵道補助法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年三月二十三日 委員長 子爵西尾 忠方

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時條例ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年三月二十三日 委員長 子爵西尾 忠方

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

○子爵西尾忠方君 只今議題トナリマシタ

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外十六件ノ法律案ノ特別委員會ノ審議ノ概要並ニ其ノ結果ニ付キマシテ御報告ヲ申上ゲマス、先ヅ日程第十二、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案並ニ日程第十三、昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付、便宜一括シテ申上ゲマス、御承知ノ通り是ハ所謂赤字公債ト臨時軍事費支辨ノ爲ノ公債發行ニ關スルモノデアリマス、昭和十五年度一般會計歲出ノ財源トシテハ、現行ノ震災善後公債法及道路公債法ニ依リ、公債ヲ發行スル外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲、更ニ公債十七億二千二百萬圓ヲ起債スルノ必要ニ依リテデアリマス、又昭和十二年法律第八十四號ノ改正ハ、臨時軍事費十四億六千萬圓ノ追加計上ノ中、三十六億七千三百九十餘萬圓ノ公債財源ニ依リ支辨セムトスルモノデアリマス、委員會ニ於ケル主ナル質疑應答ヲ申上ゲマスレバ、一委員ヨリ、公債消化ノ將來ニ付テ何等カノ方法ヲ講ズル必要ハナイカ、即チ國民ヲシテ強制的ニ公債ヲ保有セシムルヤウナ方法ヲ執ル必要ハ生ジナイカトノ御質疑ニ對シマシテ、當局ヨリ、國債消化ニ付テハ、一方ニ預金部ノ引受ガアリ、他方ニハ日本銀行ノ引受ガアリ、此ノ日本銀行ノ引受ケタ國債ハ、或ハ郵便局ヨリ賣出シ或ハ市中ノ金融機關其ノ他ニ賣却セラレテ居ルノデアリマス、而シテ事變以來消化ノ成績ニ依リマスルト、事變發生後、即チ昭和十二年下半期ニ發行シタ國債額ハ十三億デアリマシテ、其ノ消化割合ハ五五、パーセントノ半ニナツテ居リマス、昭和十三年中ニ發行シタ國債額ハ十三億三千萬圓デ、其ノ消化率ハ八七、パーセントノ半ニナツテ居リマス、更ニ昭和十四年ニ於キマシテハ、國債發行額五十二億八千餘萬圓デアリマシ

テ、其ノ消化率ハ八九、パーセントノ二ト云フ狀況デアリマス、此ノ事變下ニ於ケル國債消化トシテハ好成績ト思ハレルノデアリマス、更ニ本年ニ入りマシテ、三月十日迄ニ九億圓ヲ發行シ、九五、パーセントノ六ト云フ消化率ヲ示シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、敢テ強制保有ト云フヤウナ國家權力ニ依ラズシテ、從來ノ通り一般國民ノ理解ト協力トニ依テ、國債ハ消化シ得ル確信ヲ持ツテ居ルトノ御答デアリマシタ、次ニ今日支那事變下ニ於キマシテ、日滿支經濟「ブロック」建設、生産力擴充、軍備充實ト云フ三ツノ事柄ハ、ドウシテモ之ヲ遂行シテ行カナケレバナラナイノデアリマシテ、而モ相當長期ニ亘リテ、是等ヲ維持シテ行カウト云フノデアリマスカラ、現在ノ儘デハ無理デハナイカ、日本ノ國力ニ應ジテ適當ニ按配整理スル必要ハナイカト云フ御質疑ニ對シマシテ、大藏大臣ノ御答ハ、財政上ノ見地カラ言ヘバ、國際上非常ナ變化ガナイ限りハ、事變ガ更ニ數年繼續シテモ何等心配スル所ガナイ、唯物資ノ上ニ於テ若干日本ニ生産シ得ナイモノガアルカラ、其ノ必要品ヲ輸入スルダケノ正貨ヲ獲得スル途ガ付ケバ、事變ガ長期ニ亘リテモ憂フルニ足ラナイノデアリ、此ノ輸入力ニ付テハ貿易上、輸入品ニ對シテ嚴重ナル統制ヲ加ヘ、輸出ヲ極力獎勵シ、又一面産金トカ金ノ蒐集等ト相俟ツテ、必要物資ノ輸入力ヲ維持シサヘスレバ、一兩年ノ中ニハ生産力ヲ擴充セラレ、日滿支間ノ經濟モ綜合的ニ確立セラル、ニ至ルノデアリガ、ソレ迄ノ間ハ、國民トシテ一大覺悟ヲ以テ進ンデ貫ハナケレバナラナイト云フ意味ノ御答デアリマシタ、又我ガ國ノ生産狀態ハ、昨秋以來、所謂縮小再生産ノ過程ニ入ツタトモ見ラル、ノデ、現ニ動力、原料等ノ不足ハ、既ニ企業收益ヲ減退セシメテ居ル方面モアリ、民心ノ不安動搖ハ、物資ニ對シ不當ノ買溜、隱匿ガ行ハレル等、是等ノ影響ヲ受ケテ、

公債ノ消化殊ニ小額公債ノ賣行キハ、相當ニ影響ヲ蒙ツテ居ルヤウニ見ラル、ノデ、國民ノ貯蓄力ト公債保有ノ限度トノ關係ニ付テハ、深甚ナル考慮ヲ拂フベキ時期ニ到達シテ居ルト思ハレルガ、藏相ノ御所見如何ト云フ御質疑ニ對シマシテ、其ノ御答ハ、公債消化ノ基礎トナル國民ノ貯蓄ニ付テハ、幸ヒ國民ノ協力ニ依ツテ成績ヲ擧ゲテ居ルコトハ、甚ダ心強ク感ズルノデアリマス、昭和十五年度ハ百十億乃至百二十億ノ計畫ヲ立テ進ンデ行キマスガ、御話ノヤウナ經濟界ノ事情ハアリマスカラ、十分ナル努力ヲ拂ヘバ其ノ目的ハ達シ得ルト思ヒマス、又物價ニ付テハ、今日物價ヲ抑ヘテ居ルコトガ、一面カラ見レバ、生産擴充ヲ阻礙シテ居ル懸念モアリマスカラ、一日モ早く、適正價格ノ決定ニ努力シテ、國民ヲシテ生産擴充ニ力ヲ盡シヤウニ向ケタイト思フトノ御答デアリマシタ、次ニ又一委員ヨリ、現下非常時ニ於テ我ガ國ガ毎年多大ノ國費ヲ要スル際、其ノ財源ヲ主トシテ公債ニ仰グト云フコトハ、現狀トシテ已ムヲ得ナイ所デアリマス、幸ヒ今日迄政府ノ御努力ト國民ノ愛國心ニ依リ、巨額ノ公債モ圓滑ニ消化セラレタノデアリマスガ、此ノ形勢ハ時日ノ經過ト共ニ困難トナルコトハ覺悟シナケレバナラナイノデアリマス、ソレニ付テ最モ必要ナルハ、公債償還ニ關スル政府ノ將來ノ對策デアラウト存ジマス、勿論目下如何ニシテ巨額ノ公債ヲ募集スルコト云フ難問題ニ直面シテ居ル際、其ノ償還整理ノコトハ將來ノ問題デアルト云フ論モアリマセウガ、財政上深謀遠慮ノ上カラハ、巨額ノ公債ヲ發行スルニ際シテハ、自ラ是ガ償還ニ對スル將來ノ腹案ガナレバナラヌト思ヒマス、今回政府ハ多年ノ懸案デアツタ稅制ノ改正ヲ爲シ、増稅計畫ヲ立テラレマシタノデアリマスカラ、此ノ機會ニ於テ、此ノ増稅ト相俟ツテ多額ノ公債ノ償還計畫ヲ樹テラレルニハ、好イ機會ト思フノデアリ



マス、公債償還ノ將來ノ對策ニ付テ、今回ハ未ダ制度ノ上ニ具現ヤラレナカッタコトハ遺憾ニ存ジマスガ、是モ亦現下ノ情勢上已ムヲ得ナイトシテモ、今後長期建設ノ上カラ、更ニ毎年巨額ノ國費ヲ要スル上カラ多ク、大ノ公債ヲ募集スルト云フ状態ニ於キマシテ、之方償還ノ方法モ同時ニ並行シテ立テラレナケレバ、公債ノ消化ノ上ニ憂慮スベキ事柄デアリマス、國債消化ノ難局ト云フコトハ、殆ド我ガ國ノ運命ヲ支配スルモノデアルト云フモ過言デハナイ位ノ状態ニナツテ居ルト存ジマス、此ノ際之ニ對スル當局ノ御腹案ナリトモ御示ヲ願ヒタイト云フ御質疑ニ對シマシテ、大藏大臣ハ、此ノ公債ノ發行ニ際シテハ、ドウシテモ公債ノ價格ヲ堅實ニ維持スル上カラ、其ノ償還ニ對スル確固タル方針ヲ立テテ行クコトハ、最重要ナルコトト思ヒマス、從來國債ノ元金償還ノ繰入額ガ萬分ノ百十六ト云フ規定ノアリマシタノガ、其ノ三分ノ一ニナツテ居ル状態ハ深ク留意シナケレバナラスコトデアリマス、今期議會ニ提出シテ豫算ヨリ申セバ、優ニ此ノ萬分ノ百十六ノ三分ノ一デハナク、萬分ノ百十六デモ償還シテ餘リル状態ニナツテ居ルノデアリマス、今回ノ増稅ト自然増收トニ依リ、連年増加シテ行ク恩給トカ年金トカヲ支辨スルト同時ニ、國債ノ利子ヲ拂ヒ、而シテ尙相當ノ元金償還ヲ爲スダケノ計畫ハ立ツテ居リマスガ、組閣早々デアリマシタノデ、之ニ對スル具體策ヲ提出シ得ナカッタコトハ遺憾ニ思フノデアリマス、次ノ機會ニ於テ成ルべく早く、此ノ問題ニ對シ具體的ノ方策ヲ立テテ御協賛ヲ願ヒタイト考ヘテ居ルトノ御答辯ガゴザイマシタ、

計法中改正法律案、本案ハ作業會計法ノ第二條第四項ノ改正デアリマシテ、即チ近年燃料廠ノ事業ガ増大シテ參リマシタノデ、把握運轉資本ニ不足ヲ生ジマスノデ、從來ノ二百萬圓ヲ六百萬圓ニ増額スル必要ノ爲デアリマス、一委員ヨリ、海軍ニ於テ油ノ問題ハ海軍活動ノ中心ヲ成スモノデアアル故ニ、僅カ六百萬圓位ノ運轉資本ノ増額デ差支ナイノデアアルカト云フ問ニ對シ、當局ヨリ、燃料廠ガ現在ノ規模デアアル限りハ是デ差支ナイガ、目下事業ノ擴張ヲ計畫中デアアルカラ、其ノ進行ニ伴ヒ此ノ金額デハ不足スル場合ガ數年後ニ來ルコト考ヘルトノ御答デアリマシタ、尙本案ニ付キマシテ、政府ノ要求ニ依リマシテ秘密會ヲ開キマシテ、海軍大臣並ニ説明員ヨリ詳細ナル油ニ關スル御説明ヲ承ツテデアリマス、次ハ日程第十七、造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新築擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案、本案ハ、以上ノ各設備ノ新築擴張費トシテ造幣局資金ノ中カラ三百萬圓ヲ、昭和十五年度及ビ昭和十六年度ニ互リ、一般會計ニ繰入レムトスルコトデアリマシテ、別ニ御報告ヲ申上グル御質疑モゴザイマセズ、日程第十七、昭和十三年法律第五十三號中改正法律案、本案ハ、印刷局ニ於ケル事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、把握運轉資本ノ不足ヲ補フ爲、現在ノ借入金法定額四百萬圓ヲ七百萬圓ニ増額スル改正デアリマス、一委員ヨリ、把握運轉資本ヲ増額シナイデ、單ニ借入金ダケヲ増額スルト云フコトハドウ云フ譯デアアルカ、尙借入金ノ返済方法ニ付テ御質疑ガゴザイマシタ、之ニ對シ當局カラ、此ノ印刷局ニ於テハ、毎年相當ノ益金ヲ出シテ一般會計ニ繰入レテ居ルヤウナ譯デ、年度全體ヲ通ジテハ借入金ヲ必要トスル収支状態デハナイノデアリマス、唯毎年五月頃、前年度ニ於ケル益金ノ一般會計ニ一時ニ繰入レル際ニ、一時資金ノ不足ヲ生ジマスノデ、此ノ借入金ヲ必

要トスルノデアリマス、併シ是ハ漸次八月頃ヨリ半年位ノ間ニ生ズル益金ヲ以テ元利金ヲ返還スルノデアリマス、而シテ此ノ事業ガ増シタノハ、兌換銀行券、公債並ニ小額紙幣等ノ印刷デアリマシテ、何レモ事變ノ影響ニ依ル臨時的ノモノト考ヘラル、ノデアリマスカラ、一時借入金ノ増額ヲ以テ處理シテ居ルト云フ御答辯デアリマシタ、次ハ便宜上關聯シテ居リマス日程第十八、第十九、第二十一ノ三案ニ付一括シテ御報告申上ゲマス、日程第十八、臺灣事業公債法中改正法律案、本案ハ臺灣總督府特別會計ニ於ケル既定繼續鐵道建設費ニ追加シタル高雄臨港線及ビ新高港臨港線建設工事ニ要スル經費九百四十八萬圓、並ニ既定繼續費臺北及ビ高雄驛改良費ヲ改稱シテ停車場改良費トシ、右繼續費ニ追加シタル南部操車場建設費及ビ新竹、新營及花蓮港各驛改良ニ要スル經費六百八十四萬圓、合計千六百三十二萬圓ノ中、千六百萬圓ハ同特別會計ノ現狀並ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトトシタル爲、臺灣事業公債法ニ依ル公債發行限度ヲ千六百萬圓ダケ増加スルト云フコトデアリマス、次ニ日程第十九、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案ハ、臺灣ニ於ケル官設鐵道事業ノ増大ニ伴ヒマシテ、本資金ノ不足ヲ生ジマスノデ、其ノ法定額百萬圓ヲ二百萬圓ニ増額シ、其ノ不足額ハ漸次臺灣總督府特別會計ヨリ之ヲ繰入レルコトトスル改正デアリマス、次ニ日程第二十一、臺灣私設鐵道補助法中改正法律案、臺灣ニ於テ本法ニ依リ現ニ補助金ヲ交付シツ、アル私設鐵道ハ、臺北鐵道株式會社及ビ臺中輕鐵株式會社ノ經營ニ屬スル二線デアリマス、臺灣ニ於ケル私設鐵道ノ助成上、之ガ經營ノ實績ニ鑑ミマシテ、其ノ補助期間ヲ更ニ五箇年間延長シ得ル途ヲ拓クト同時ニ、尙補助ノ方法ニ付キマシテモ、現下金利ノ低下ノ趨勢ニ照シ、又内地朝鮮トノ權

衡ヲ考慮シマシテ、此ノ際補助率ハ一率ニ之ヲ五分トシ、又益金留保率ハ一分ニ改メタルデアリマス、而シテ現ニ補助ヲ受ケツツアル鐵道ニ對シマシテハ、所謂既得權ヲ尊重シマシテ、現在ノ補助期間満了ノ日ニ屬スル營業年度ノ末日迄ハ、從前ノ例ニ依リ補助スルコトトナツテ居ルノデアリマス、以上三案ヲ通ジテ申上ゲマスレバ、臺灣ニ於ケル私設鐵道補助ハ僅カニ十數「キロ」ニ過ギナイノデアアルカラ、是ハ寧ロ買收シタ方ガ適當デハナイカト云フ御質疑ニ對シマシテ、當局ヨリハ、本線ハ國有鐵道ノ代用線デアリ、且產業方面ニ必要ナル線路デアアルカラ、將來ハ國營トシテ然ルベキモノト思フガ、今日ハ未ダ其ノ時機ニ到達シテ居ナイトノ御答デアリマス、尙臺灣ノ經濟事情ニ付キマシテ色々御質疑ガゴザイマシタガ、總務長官ヨリ各方面ノ事項ニ互リマシテ、詳細ナル御説明ガゴザイマシタ、次ハ前ノ日程ニ戻リマシテ日程第二十、朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、本案ハ、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續鐵道建設費及改良費、道路修築改良費、港灣修築改良費及送電施設費ノ追加額等二億九千五百餘萬圓中、二億八千六百九十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歲計ノ現狀並ニ其ノ經費ノ性質ニ鑑ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル處、鐵道建設及改良費既定額ノ内、公債財源ニ依ル豫定ナリシモノヲ、普通財源支辨ニ振替ヘマスルモノ等ガ千七百餘萬圓デアリマス、差引二億六千九百九十餘萬圓ダケ、現行ノ朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルト云フコトデアリマス、一委員ヨリ致シマシテ、朝鮮ニ於ケル先般ノ早害ガ、送電施設ニ如何ナル影響ヲ及ビシタカト云フ御尋ニ對シマシテ、朝鮮ノ南ハ火力發電ニ依リ、北鮮ハ主トシテ水力發電ニ依ツテ居リマスノデ、早魘ハ南鮮ノ方デアリマシタカラ、水力ノ不足ト云フコトハ何等ノ影

響ガナカッタト云フコトデアリマス、此ノ點  
内地ト事情ヲ異ニシテ居ルノデアリマス  
ノ御答デアリマス、次ニ鴨綠江河口ノ多  
獅島ノ工業地帯計畫ニ付テ質疑ガアリマシ  
タ、之ニ對シテ當局カラ、多獅島ノ修築ハ  
目下餘程進捗シテ參リ、之ニ伴フ工業地帯  
モ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ、可ナリ廣大  
ナル區劃ヲ多獅島及ビ新義州ノ間ニ指定シ  
シ、豫定ノ進行ヲシテ居ルト云フコトデア  
リマス、其ノ他朝鮮ノ統治方針、或ハ朝鮮  
ノ民情等ニ付キマシテ種々御質疑ガアリマ  
シタ、之ニ對シテ拓務大臣並ニ政務總監ヨリ  
詳細ナル御答辯ヲ得タデアリマス、次ハ  
日程第二十二、政府出資特別會計法案、本  
案ハ、特殊會計法等ニ基ク政府ノ出資ハ近  
年特ニ増加シ、其ノ現在額ハ、一般會計所  
屬ノ分十億千九百餘萬圓、特別會計所屬  
ノ分一億千五百餘萬圓、特別會計所屬ノ分  
八億三千五百餘萬圓、特別會計所屬ノ分七  
千七百餘萬圓デアリマシテ、相當巨額ニ上  
テ居リマス處、此ノ際政府出資ノ性質等ニ  
鑑ミマシテ、特段ノ定ニ依リ他ノ特別會計  
ノ所屬ト致シマスルモノヲ除キ、他ハ總テ  
之ヲ統合シ、之ニ關スル歲入歲出ハ他ノ會  
計ト區分經理スルヲ適當トシテ規定セラレ  
タデアリマス、一委員ヨリ、本案ハ法文上  
出資ナル文字ハ株式ノ買入迄ヲ含ムト解シ  
得ルノミナラズ、豫算ヲ見ルト、項ニ出資  
金トアリ、滿鐵等各會社ヘノ出資額ハ目下  
掲ゲテアル、是デハ豫算ノ形式上、目以下  
ハ流用ガ可能デアル結果、豫算面ニ示サレ  
テ居ル金額モ之ヲ流用シテ他ノ會社ノ出資  
ニ向ケルコトガ出來ル、又、目ハ追加スル  
コトモ出來ルカラ、豫算ニ示サレテナイ會  
社ノ株式ノ買入モ出來ルコトナリ、政府  
ニ與ヘル權限ガ廣汎ニ失シ不都合デハナイ  
カト云フ御質疑ガゴザイマシテ、政府ガ株  
式又ハ持分ヲ取得スルコト、即チ政府出資  
ヲ致シマスニ付テノ根本方針ハ、從來ト變

リガナイノデアリマス、從ヒマシテ御指摘  
ノヤウニ、政府ガ豫算ニ示シテアル以外ノ  
株式ヲ、豫算ノ流用ニ依リ買入レルガ如キ  
コトハ、實際ニ於テハナイト思ヒマス、併  
シナガラ豫算ノ形式ガ不適當デアルカラ、  
將來之ヲ變更シテ、政府ガ出資セムトスル  
各會社ヘノ出資額ハ、目下ナク項ニ掲ゲテ、  
之ヲ流用ノ出來ナイヤウニシテ、政府ノ考  
ヘテ居ルコトト豫算ノ形式トガ、名實共ニ  
一致スルヤウニスベシト云フコトニ付テ  
ハ、御趣旨御尤ニモ存ゼラレマスノデ、將  
來ニ於キマシテハ篤ト考慮シテ善處シタイ  
トノ御答辯デアリマシタ、次ハ日程二十三、  
陸軍航空工廠資金特別會計法案、本案ハ、  
近ク設置セラレマス陸軍航空工廠等ニ於  
キマシテ、陸軍航空兵器ノ製造修理ノ事業  
ヲ經營致シマス處、其ノ事業ノ性質上、之  
ニ要スル材料物品ヲ相當期間準備有スル  
ノ必要ガアリマス爲、其ノ資本トシテ五百  
萬圓ヲ、新タニ陸軍航空工廠資金トシテ置  
クコトトシタデアリマスガ、之ニ關スル  
歲入歲出ハ、一般會計ト區分シ特別ニ經理  
スル必要ガアルノデ、特別會計ヲ設置ス  
ルニ至ツタデアリマス、之ニ付キマシ  
テ特ニ申上ゲル御質疑ハゴザイマセヌ、  
次ハ日程第二十四、金資金特別會計法中  
改正法律案、右ハ現今ハ、金資金特別會  
計法第三條ノ規定ニ依リマシテ、金資  
金ハ總額五千萬圓ヲ限リ、豫算ノ定ムル所  
ニ依リマシテ、之ヲ産金ノ増加ヲ圖ル爲必  
要ナル費途ニ使用スルヲ得ルコトト相成ッ  
テ居リマス處、現下ノ時局ニ鑑ミマスル  
ニ、此ノ金額ノ限度ヲ擴張致シマスルト同  
時ニ、金資金ヲ使用シ得ル範圍ヲモ擴張致  
シマシテ、金資金總額二億圓ヲ限リ、豫算  
ノ定ムル所ニ依リマシテ、之ヲ産金ノ増加  
及ビ金ノ集中ヲ圖ル爲、必要ナル費途ニ使  
用スルコトヲ得ルコトトシ、以テ産金ノ増  
加及ビ金ノ集中ヲ促進シ、國際收支ノ改善  
ニ資セムトスル改正デアリマス、之ニ付キ

マシテモ別ニ茲ニ申上ゲル御質疑ハゴザイ  
マセヌ、次ニ日程第二十五、昭和十三年法  
律第二十三號中改正法律案、是ハ同法第一  
條ノ規定ニ依リマシテ、關東局、朝鮮總督  
府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ヨリ、  
其ノ租稅收入ノ一部ニ相當スル金額ヲ、臨  
時軍事費特別會計ニ繰入レルコトニ相成ッ  
テ居リマスルモノノ外ニ、今回新タニ關東局  
特別會計ニ於ケル外貨債特別稅及揮發油稅  
樺太廳特別會計ニ於ケル營業收益稅、酒造  
稅及資本利子稅ノ、各昭和十五年度以降ノ  
増徴ニ因ル増收額ノ一部ニ相當スル金額ヲ、  
又朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各  
特別會計ニ於ケル特別法人稅、臺灣總督府  
特別會計ニ於ケル配當稅ノ各創設ニ因ル收  
入額ノ一部ニ相當スル金額ヲ、毎年度豫算  
ノ定ムル所ニ依リ臨時軍事費特別會計ニ繰  
入ル、コトト致シマシタ處、是ガ會計上ノ  
處理ニ關スル改正ヲ必要トスルニ因ルノデ  
デアリマス、本案ニ付キマシテモ別ニ御質疑  
ハゴザイマセヌデシタ、次ニ日程第二十六、  
樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發  
行ニ關スル法律案、本案ハ、當初財政上其  
ノ他ノ事情ニ依リ國鐵代行線トシテ敷設セ  
ラレマシタ國鐵、東海岸落合驛ヨリ東海岸  
ヲ北上シテ敷香ニ至ル延長二百四十五キ  
ロ、五分ノ私設鐵道デアリマスガ、交通並  
ニ拓殖上ノ重要幹線デアリマスノミナラズ  
國防上ニ於テモ亦重大ナル使命ヲ有シテ居  
リマスノデ、之ヲ國營ニ統一シテ諸設備ノ  
改善ヲ圖ルト共ニ、國營鐵道ノ運營系統整  
備ノ必要上等ヨリ、昭和十五年度ニ於テ之  
ヲ買收スル必要ヲ認メマシタノデ、之ガ買  
收代價トシテ交付スベキ公債ヲ發行シ得ル  
コトトスルノ必要ニ依リノデアリマス、委  
員會ニ於キマシテ一委員ヨリ、買收豫定額  
ニ付御質疑ガアリマシタ、當局ヨリ之ニ對シ、  
建設費ヲ基準トシテ二千三百四十六萬圓ト  
見積リ、之ニ對シ假ニ三分五厘ノ公債ヲ發  
行交付スルコトトナレバ、公債額面トシテ

二千四百二十九萬圓バカリヲ豫定シテ居ル  
トノ御答辯デアリマシタ、其ノ他ハ速記録  
ニ讓リタイト存ジマス、次ハ日程第二十七、  
樺太地方鐵道補助法中改正法律案、是ハ樺  
太ニ於テ現ニ補助中ノ地方鐵道ハ、樺太鐵  
道株式會社ト南樺鐵道株式會社ト二ツノ鐵  
道デアリマシテ、是等ノ鐵道ニ對スル補助  
方法ハ、金利ノ著シク低下シタ現下經濟界  
ノ趨勢ニ鑑ミ、又朝鮮及ビ臺灣ノ私設鐵道  
補助法トノ均衡ヲモ考慮シテ、此ノ際補助  
率及ビ益金留保率ヲ引下グルコトガ適度デ  
アルト云フ、理由ヲ以テマシテ、補助率ハ一  
率ニ之ヲ五分トシ、又益金留保率ハ之ヲ一  
分ト改メタデアリマス、尙毎年ノ補助金  
最高額法定ノ制度ヲ改メマシテ、補助額ハ  
毎年之ヲ豫算ニ於テ定ムルコトト致シタノ  
デアリマス、而シテ現ニ補助ヲ受クル鐵道  
ニ對シマシテハ、所謂既得權ヲ尊重シマシ  
テ、現在ノ補助期間滿了ノ日ノ屬スル營業  
年度ノ末日迄ハ、從前ノ例ニ依リ補助ヲス  
ルコトトシタデアリマス、別ニ委員會ハ  
於キマシテハ茲ニ申上ゲル程ノ御質疑ハゴ  
ザイマセヌデシタ、陸軍航空工廠資金特別會  
計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特別ニ關  
スル法律案ヲ申上ゲマス、本案ハ、今次事  
變ニ際シ、陸海軍用兵器等ノ調達並ニ修理  
ヲスルニ必要ナル材料物品ノ一部不足ノ爲  
之ガ完成ニ支障ヲ來スガ如キ場合ニハ、臨  
時應急ノ措置トシテ、陸軍造兵廠、千住製  
絨所、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資  
金ノ各特別會計ニ屬スル材料物品ニシテ、  
融通ヲ爲シ得ルモノハ、當該事業主ニ賣  
拂ッテ、之ガ製造修理ノ圓滑ヲ圖ルノ必  
要ナル處、是ガ爲ニハ陸軍作業會計法、  
陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工  
廠資金會計法ノ特別タルベキ法律ヲ制  
定スルノ必要ニ依リノデアリマス、別ニ申  
上ゲル御質疑モゴザイマセヌデシタ、以上  
ハ當委員會ニ付託サレマシタ法案ノ中、十

七件ニ關スル質疑應答ノ概要ヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリマス、昨日討論ニ入りマシタ處、一委員ヨリ御發言ガアリマシタ、即チ政府出資特別會計法ニ付テ、政府委員ノ御説明デハ出資ニ屬スル金迄モ、即チ生産の事業ニ投ズル金迄モ、其ノ財源ガ公債ニ依ル場合ハ、赤字公債ト云フ名稱ノ下ニ概括セラル、コトハ面白クナイト言ハル、ガ、元來出資ト雖モ、國庫ニ餘裕ガアルナラバ普通財源ニ依ルノガ當然デ、其ノ財源ガナイ場合ナレバコソ、公債ヲ以テ之ニ應ズルコトハ妨ゲナイノデアツテ、是ハ其ノ時ノ事情ト性質ニ依ル問題ト思フ、ト云フノデアリマスガ、多クノ公債ヲ出シテ置キナガラ、赤字公債ト云フモノガ少キガ如キ感ヲ與フルコトハ、寧ロ財政上ノ本旨ニ反スルノデハナイカ、此ノ點ガ、此ノ特別會計組織ノ弊害ノ最モ著シイモノト思フノデアリマス、以上ノ理由ニ依リ、本法案ニ對シデハ其ノ成立ヲ希望シナイノデアリマスガ、既ニ豫算モ成立シテ居ルノデ、今更此ノ法案ヲドウスルコトモ出來ナイノデアリマスカラ、先ニ政府ガ辯明セラレタ豫算編成上ノ缺陷ニ付テハ將來御考慮ノ上善處セララルト云フ言明モアリ、又大藏省トシテハ、是等ノコトニ付十分善處セララル、コトト確定シマスカラ、其ノ言明ヲ信賴シテ、此ノ法案ニ對シ消極的デハアルガ贊成ノ意ヲ表スルノデアリマス、其ノ他ノ法案ニ付テハ何等異議ナク原案通り贊成スルト云フ、警告的ノ贊成ノ御意見ガ述ベラレタノデアリマス、次イデ採決ヲ致シマシタ處、各案共全會一致ヲ以テ原案通り可決スベキモノナリト議決セラレタノデゴザイマス、甚ダ簡單デアリマスガ、以上ヲ以テ私ノ御報告ヲ終リマス、何卒委員會ノ決議通り御贊成アラムコトヲ希望シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、各案ノ採決ヲ致シマス、各案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

シ、且此ノ國庫負擔金ニ付キマシテモ、八千五百萬圓ヲ下ラヌ一定額ヲ負擔スルノ現制ヲ改メマシテ、市町村立尋常小學校教員俸給ニ要シマスル經費ノ二分ノ一ノ定率ヲ以テ負擔スルコトト致シマシタノデ、此ノ趣旨ニ基キマシテ、市町村義務教育費國庫負擔法並ニ現役小學校教員俸給費國庫負擔法ヲ改正致サムトスルノガ、此ノ兩案ヲ提案セラレタ趣旨デゴザイマス、委員會ニハ、主管大臣タル所ノ文部大臣ノ出席ハ勿論、又内務省ノ政府委員モ出席サレマシテ、其ノ所管ニ關スル事項ノ説明ヲ致サレタノデアリマス、質問ハ、教育行政ニ關スル種々多岐多様ノ質問ガ澤山アツタノデアリ、而シテ中ニハ、直接此ノ兩案其ノモノニハ直接ニハ關係ノ稍、薄キ事項ニ互ツテモ、文政上ノ上カラ見テハ頗ル重要ナル質問ガ澤山アツタノデアリマス、即チ之ヲ半面カラ申シマスレバ、文部省所管ノ行政事項ノ中デ、美術及美術保存ニ關スルモノトカ、音樂ノ教育デアルトカ、盲啞教育デアルトカ、及ハ宗教行政ニ關スルコトデアルトカ、及ビ高等學校以上大學教育ニ關スル事項ト云フコトハ、質問ニハ何モ出ナカッタノデアリマス、其ノ他ノ專柄ハ、文部省所管ノ行政事項ニ對シテハ大部分質問ガアツタト御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、其ノ二三ノ主ナルモノヲ申上ゲマス、先ヅ此ノ法案ノ立法ノ形式論デアツタノデアリマス、是ハ法律ニモズトモ勅令デアツタモノト云宜イデハナイカト云フ質問ガアツタノデアリマス、ソレニ對シテ、是ハ矢張り法律ニ致ス方ガ宜シイ、何トナレバ、法律ニスレバ既定ノ歳出トナルノデ、非常ニ性質ガ確實ニナルノデアルト同時ニ、此ノ方ガ議會ニ拘束セラレルノデ、慎重ニナルノデアラカラシテ、之ヲ法律ニ致ス方ガ宜シイト云フ答デアツタノデアリマス、尙又今後ハ直接ニ道府縣ガ負擔スルノデ、不拂ト力延滞トカ云フコトノ憂ガナクナル、斯ウ云フ答

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

辯デアッタノデアリマス、又他ノ質問ハ、小學校教員ハ國民ノ基礎教育ヲ掌ル、即チ國家教育カラ見テ、國家教育ノ大本ニ至大ノ關係ヲ有スル重キ職務デアリトシ、此ノ教員ノ優待ヲ、精神的及物質的兩方面ニ於テ、モット良クスルノガ現時ノ急務デアリト思フガ如何デアラカト云フ質問ニ對シテ、政府當局曰ク、其ノ趣旨ニ從フヤウニ篤ク考慮シ、成ルベク其ノ實行ヲ期シタイト云フ意味ヲ答辯ガアッタノデアリマス、而シテ又此ノ教員ノ待遇向上セシメテ優遇スルコトノ必要デアルト云フコトハ、委員全般ノ最モ強キ希望デアリマス、又最モ強キ主張デアッタノデアリマス、即チ此ノ意見ガ最モ熱烈ニ述べラレタコトヲ特ニ此ノ際附加ヘテ申上ガテ置キマス、更ニ他ノ質問ハ、今後國策トシテ教育費ノ全部ヲ國庫ノ負擔トスル考ナキヤ如何ト云フ質問デアッタノデアリマス、是ハ理想論トシテハ左様思フガ、未ダ之ヲ實行スルコトハ少シク出來ナカラウト、斯ウ云フヤウナ意味ノ答辯ガアッタノデアリマス、即チ理想論トシテハ當局ハ之ヲ是認セラレタノデアリマス、其ノ他澤山ノ質問ガアッタノデアリマス、一々質問ト答辯ノ要領ヲ申上ゲルコトハ徒ニ時間ヲ費ヤスノミデアリマス、大體其ノ項目ダケヲ申上ゲテ置キマス、詳細ノコトハ速記録ニ依ッテ御覽ヲ願ヒタイト存ジマス、即チ其ノ項目ダケヲ申上ゲマス、農村ニ優良ナル教員ヲ置クノ必要ガアルガ、ソレニ對スル意見ハ如何ト云フ質問、又國民學校ノ修學期限ヲ延長シテハドウカト云フ質問、又其ノ内容刷新ノ必要ガアルト思フガ如何ト云フ質問モアッタノデアリマス、又國民學校教科書編纂ニ關スル質問、又教科書ノ配付ヲ全部國費ニスル考アリヤ如何ト云フ質問、又中等學校入學試験ニ關スル質問、又教員分限令ヲ定メテ其ノ地位ヲ保障スルノ必要ガアルト思フガ其ノ考アリヤ否ヤト云フ質問、又六大都市トソレ以外ノ都市トノ

支拂事務ノ相違ニ關スル質問、又教育費ノ負擔ノ半額ヲ文部省ヲ經テ國庫ガ負擔シ、殘リノ半額ヲ道府縣ガ支拂フト云フ事情デアリトシ、是ハ要スルニ何レモ元ハ國庫ヨリ出ルノデアラカラシテ、寧ろ全額ヲ國庫負擔トシタナラバ如何ト云フ質問モアッタノデアリマス、大體マア斯クノ如キ質問ノアツタコトヲ其ノ項目ダケヲ舉ゲテ申上ゲマス、而シテ質問ガ終リマシテ討論ニ移リマシタ時ニモ、前申上ゲマシタ如キ教員ノ爲ニ優遇スルコトガ必要デアルト云フコトヲ、各委員ガ最モ熱心ニ力説セラレタノデゴザイマス、最後ニ採決ニ際シマシテ、此ノ兩案ハ法律ノ形式ニセズシテ勅令ニ委ネタ方宜イト云フ一委員カラ反對ノ意見ヲ述べラレタノデゴザイマス、即チ此ノ委員ノ意見ハ否決論者デアッタノデアリマス、其ノ一委員ノ否決論ヲ除イテ外ハ、全部ノ委員ガ兩案ニ贊成ヲ致サレマシテ、即チ多數ヲ以テ兩案共ニ可決シテ次第デゴザイマス、簡單ナガラ之ヲ以テ私ノ御報告ヲ終リマス

○副議長(侯爵佐木行忠君) 質疑ノ通告ガゴザイマス、紀男爵

(男爵紀俊秀君演壇ニ登ル)

○男爵紀俊秀君 會期切迫ノ折柄デアリマス、極メテ簡單ニ質問ヲ致シマス、此ノ兩法案ニ對シマシテハ、私ハ前年度カラ此ノ壇上デ其ノ必要ヲ唱ヘテ參リマシタノデス、ソレ故ニ此ノ兩法案ニ對シマシテハ全然贊成デアリマス、唯此ノ法案ヲ御出シシテ、又國民學校ノ制度ヲ御改メニナルノナラ、何故モット大事ナモット急ナル問題ヲ早ク御解決ニナラナカッタト云フコトニ付テ伺ヒタイノデアリマス、是ハ先日ノ豫算總會デ相當私ハ御伺ヒ申シタノデアリマス、併シナガラ甚ダ遺憾ナコトハ、文部大臣ノ御答辯ハ、極メテ失望セシメテ御答辯デアリマシタノデ、ソレデ其ノ節ニモ、更ニ又

伺フ時機ガアリマシタラ御伺フ致シマス、云フコトデ、其ノ時機ヲ實ハ狙ッテ居タノデアリマシタガ、豫算總會ニ於キマシテモ、亦分科會ニ於キマシテモ、其ノ他ノ機會ニ於キマシテモ、今日迄遂ニ伺フコトガ出來ナカッタ、ソレデ此ノ問題ニ付キマシテハ、ドウシテモ此ノ會期中ニ伺ッテ置カケレバナラス、而モ此ノ兩法案ニ密接ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此ノ會期切迫ノ折柄デアリマシタガ、一言御伺フ申シタイノデアリマス、此ノ國民學校ノ改正ニ付キマシテ、又此ノ兩法案ノ制定ニ付キマシテ、何ヲ忘レテ居ルカト申シマス、師範學校ノ教育制度ノ改正デゴザイマス、申上迄モアリマセヌガ、今度ノ國民學校ノ制度ハ、其ノ内容ニ於キマシテモ殆ド全體之ヲ改正サレテ居ルノデアリマス、申上迄モナク是迄ハ分科教育ヲヤッテ居リマシタノガ、今度ハ綜合教育ニナリマシテ、全然是迄ノ教育方法ヲ徹底的ニ改正セラレテ居ルノデアリマス、之ニ依ッテ始メテ國民教育ト云フモノガ完全ニナリ得ラレルノデアリマス、故ニ只今迄ハ、六年ノ尋常小學教育セラレタモノヲ又更ニ高等小學教育二年ヲ復習ラスルト云フ形デアリマシタノガ、今度ノ改正ニ依リマシテハ、六年デヤル教育ヲ八年デ始メテ完成スルノデアアル、只今ハサウデナクテ、六年デ完成ヲシテ、更ニ又二年其ノ上ニ削リテ掛ケルト云フコトニハナッテ居リマス、之ガ八年デ國民教育ヲ完成スルケレドモ、之ガ八年デ國民教育ヲ完成スルケレドモ、斯ウ云フ建前ニナッテ居リマス、是ハ大キナ私ハ進歩ダト思フノデアリマス、是迄ノ弊害デアリマシタ焦燥教育、乾燥教育、詰込教育、サウ云フヤウナ弊害ガ全ク之ニ依ッテ救ハレルノデアリマス、デアリマス、今度ノ國民學校ノ八年制ニナッタト云フコトハ、單リ國民學校ガ八年ニ延バサレタ、二年延バサレタト云フ意味デハナクシテ、六年ノ教育ヲ八年ニ徐々トシテユックリ子供ノ頭ニ叩キ込ムト

云フコトニナルノデ、是デコソ本當ノ大國民タル實質ヲ具ヘサス本當ノ教育ガ、之ニ依ッテ出來ルモノト私ハ信ズルモノデアリマス、サウ云フ意味カラ申シマス、今度ノ國民教育ノ改正ト云フコトハ誠ニ私ハ結構ナコトト信ズルノデアリマス、唯遺憾ナノハ、與ヘラレルモノノ制度ハ完全ニ改メラレタ、與ヘラレル所ノ教育方法ハ之ニ依ッテ改正セラレテ居ルノニ、ソレヲ活用シ、ソレヲ教ヘコナシ、ソレヲ與ヘル所ノ人間ノ教育ニ於テ不完全デアリマシタラ、如何ニ制度ガ立派デアラウト、如何ニ教育課程ヲ組替ラレテモ、何等ノ效能ガナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、何等ノ效能ガナイバカリデナク、其ノ教育方法ヲ誤リマシタナレバ、子供ニ双物ヲ持タシタト同ジヤウニ實ニ危險千萬ナル教育ニナルノデアリマス、全く是ハ主容顛倒、本末ヲ誤ッタ私ハヤリ方ダト存ジマス、何故國民教育ノ義務教育ヲ延長シ、又只今ノヤウナ兩法案ヲ御制定ニナルノナラ、之ニ先ダッテ何故ソレヲ教ヘル所ノ教員ノ素質ヲ向上コトニ付テ、私ハ豫算總會デ御伺フ致シタノデアリマス、ソレニ對シテノ文部大臣ノ御答ハ、斯ウ云フ御答ヲ得タノデアリマス、國民學校制度ノ實施ト相伴ヒマシテ、一方ニハ現在ノ師範學校ノ内容ヲ改善致シマシテ、其ノ卒業者ガ國民學校ノ教育ヲ致スルニ遺憾ナカラシメルヤウニ致スト同時ニ云々ト、斯ウ云フ御答ト、ソレカラ「師範教育ノ向上ノコト、是ハ出來得ル限り早ク之ヲ實施致シタイト考ヘテ居リマス、此處デ今何時カラト云フコトヲハキリ申上ゲルコトハ差控ヘタイト存ジマスガ、出來ル限り早ク之ガ實施ヲ致シタイト云フ考デアリマス」ト斯ウ云フ御答ヲ得テ居ルノデアリマス、ソレノ大意ヲ申上ゲマス、考ヘテ居ルガ、其ノ方法ト云フモノハ、

今ノ師範學校ヲ其ノ儘デ改善シ、ソレダケ  
ノ年數デヤツテ行ク積リダト云フヤウナ御  
答ナシデアリマス、併シ又一方ニ於テハ師  
範教育ノ改善ト云フコトハ、明カニ御認ニ  
ナツテ居ルカラ、本格的ニ成ルベク近イ將來  
ニ於テ之ヲヤルンダ、ト斯ウ云フヤウナ御  
答辯ヲ得テ居ルノデアリマス、一方ニ於テ  
ハ、今ノ教育方法ヲ多少變ヘテ、今ノ年限  
デ、今ノ師範學校ノ位置デヤツテモ差支ナイ  
ト思フト、併シナガラ本格的ニヤルト云フ  
コトナラ成ルベク早ク之ヲ改正シタイト、  
斯ウ云フヤウナ御意思デアアルノデ、要シテ  
申シマスルト、先ヅ改正ト云フコトハ、オヤ  
リニナラヌト云フ意味ニ、私ハ見受ケタノ  
デアリマス、前同ニモ申上ゲマシタヤウニ、  
此ノ師範教育ノ改正ト云フモノヲ先キニ爲  
サラナケレバナラス、與フル者ノ教育ヲ先  
キニ爲サラナケレバナラス、御承知ノ通  
リ、今度ノ分科教育ヲ改メテ綜合教育ニス  
ルト云フコトハ、マダ餘リニ例ノナイ  
コトナンデアリマス、實際ノ試験ヲ餘リ經  
テナイ、ソレハ二三校ヤ四五校ニハサ  
ウ云フコトハアリマセウケレドモ、殆ドガ  
分科教育デヤツテ居リマスノヲ、今度  
ハ綜合教育ト云フモノニ依ツテヤラナケレ  
バナラスト云フコトニナツテ居ルノデス、  
現ニ文部省デ、今度綜合教育ニナルカラ教  
科書ヲ編纂シナケレバナライ、其ノ教科  
書ヲ編纂スルノニハドウ云フ方針デヤルカ  
ト云フコト、綜合教育ニナルカラ綜合教育  
的ノ教科書ニシヨウト云フコトデ、オヤリ  
ニナツテ見ケシ、ソレ等ニ付テノ經驗、ソレ  
等ニ付テノ知識ガ御乏シイ爲カ、矢張り分  
科ノ今度教科書ヲ作ルヨリ致シ方ガナイ  
ト云フコトニナツテ居ル、文部省自體ガ既ニ  
綜合教育デヤラウト仰シヤリナガラ、其ノ  
教科書ハ分科ノ教育ヲ編纂シナケレバナラ  
ヌト云フヤウナ立場ニナツテ居ルノデアリ  
マスカラ、若シ只今ノ師範學校ヲ、年數モ  
増サナイ、昇格モシナイ、只今ノ師範學校

ノ儘デ改善シテヤルト云フコトニナリマシ  
タラ、是ハ到底實行出來得ラレナイト云フ  
コトハ、今日ノ編纂サレタ教科書ニ於テモ  
既ニ其ノ惱ミヲ見テ居ルコトデアリマス、  
サウ云フヤウナ意味カラ、是ハドウシテモ  
師範學校ノ教育ノ内容ヲ改正シ、サウシテ  
進シテ之ヲ専門學校ノ程度ニ昇サナケレバ  
出來ナイコトナノデアリマス、只今ハ高等  
小學カラ師範學校ニ入學シテ、サウシテ卒  
業スルト云フコトニナツテ、ソレデ小學校ノ  
教員ヲ得テ居ルノデアリマスケレドモ、今  
度ノ綜合教育、日本ノ兒童ヲシテ悉ク大國  
民タル資質ヲ具ヘサシテ、東亞新秩序ノ建  
設ニ資スル人間ニスルノニハ、ドウ致シマ  
シテモ中等學校ヲ卒業シテ、サウシテ師範  
學校ヘ入ツテ、サウシテ相當ノ時日師範教育  
ヲシナケレバナライト云フコトハ、是ハ  
私ガ一個人トシテ申上ゲル迄モナク、教育  
審議會デモソレニ決定シテ居ルノデス、ソ  
レナラ何故之ヲ御斷行ニナライカト私ハ  
申上ゲルノデス、只今ノ文部大臣ハ、甚ダ  
惡イ言葉デアリマスケレドモ、是迄ノ通り  
スガリノ文部大臣トハ違フノデアリマス、  
甚ダ惡イ言葉デアリマスケレドモ氣紛レノ  
文部大臣ヂヤナイ、教育ニ最モ熱心ナル、  
教育行政ニ付テハ最モ精通セラレテ、サウシ  
テ長ク教職ニモ居ラレタ、實ニ教育界ノ玄  
人デアアル文部大臣ヲ得テ居ルノデアリマス、  
其ノ文部大臣、樞密顧問官ト云フ御重職ヲ  
辭シラレテ、一大決心ヲ以テ教育ノ衡ニ當  
ラシレト云フ文部大臣デアリ、又過日ノ豫  
算總會デ米内總理大臣ニ伺ツタ處ガ、米内總  
理大臣ハ、全幅ノ信頼ヲ以テ此ノ文部大臣  
ニ教育ノコトハ御委セニナツテ居ルヤウナ  
御答辯モ得テ居ルノデゴザイマス、サウシ  
テ國民ハドウカト云ヘバ、今迄ノ大臣トハ  
違フ、今度コソハ決シテ件食大臣デモ、通  
リスガリノ大臣デモナイ、斯ウ云フヤウナ  
立派ナ教育界ノ元老ヲ文部大臣ニ迎ヘタト  
云フノデ、國民悉ク期待シテ居ル、殊ニ只

今申シタ通り、東亞新秩序ノ建設ニ當タラナ  
ケレバナラス人間ヲ、御造リニナラナケレ  
バナラス文部大臣デアリマス、デアリマス  
ルカラ、百難ヲ排シテサウシテ此ノ師範教  
育ノ改善ヲ爲サツテ、名實共ニ立派ナ人間ヲ  
養成スルノニ、御努メニナラナケレバナラ  
ナイノニ、國民教育ガ八八年制ニシヨウ、  
完全ニシヨウ、サウシテ師範教育ハ後廻シ  
ニシヨウト云フコトデアルト、先刻カラ申  
上ゲタヤウニ全ク首尾顛倒シテ居ル、是デ  
宜イト御思ヒニナルガ、甚ダ私ハ疑フノデ  
アリマス、失禮ナ言葉デスケレドモ、通リス  
ガリノ文部大臣、素人ノ文部大臣ナレバマ  
ダ是デモ宜シイ、然ルニ只今申シタヤウナ  
文部大臣ガ、ドウシテソレダケノ御決心ヲ爲  
サラナイノカト云フコトヲ私ハ疑フノデア  
リマス、ソレ故ニ豫算總會デモ伺ヒマシタガ、  
只今ノヤウナ答辯ヲ得マシテ私ハ甚ダ失望  
シテ居ル、ソレデ私ノ御願ニスルコトハ、  
ドウカ能ク御考ヘ下サリ、能ク反省下サリ、  
能ク御熟慮下サツテ、サウシテ是デ宜イカト  
云フコトヲ伺ヒタイノデス、豫算總會デ御  
伺ヒ申上ゲテカラ相當ノ日時ヲ經テ居リマ  
スルカラ、餘程御考モ下サツテ居ルコトダラ  
ウト思フノデゴザイマス、元來此ノ度ノ國  
民學校ノ義務制ノ八年ト云フノハ、是ハ現  
内閣ノ獨創デモ何デモナイ、現文部大臣ノ  
御考デモ何デモナイ、是ハ長イ間ノ傳統デ  
アリマシテ、此ノ議席ニイラツシヤイマスル  
平生文部大臣ガ特ニ此ノ問題ヲ提ゲラレ  
テ、樞密院ノ相當反對ガアルニモ拘ラズ是  
非之ヲ完成シヨウ、ソレニハ職ヲ賭シテ迄  
ヤラウト云フヤウナ大決心ノ下ニ、國民學  
校八年制ト云フモノヲ御編ミニナツテ、サウ  
シテ議會ニ提出サレヨウトシタガ、不幸ニ  
シテ内閣ノ變動ノ爲ニ遂ニ此ノ問題ハ暗闇  
ヘ投ゲラレテシマッタト云フヤウナ形ニナツ  
テ居ル、其ノ後河原田サンナリ又ハ荒木サ  
ンナリガ文部大臣ト御ナリニナツテ、是非是  
ハ提出シナケレバナラス、ソコデ昨年此ノ

問題ニ付テ荒木文相ニ質問シタ時ニ、荒木  
文相ハ、來年ノ豫算ニハ必ズ計上シテサウ  
シテ之ヲ達成スル積リデアルト云フコトヲ、  
此處デ御約束爲サツタ、其ノ志ヲ承ケラレ  
テ、河原田文部大臣ガ、之ヲ愈、御實行ニ  
ナルト云フノデ豫算ニ編成セラレタ、其ノ  
豫算ニ編成セラレタ其ノ豫算ヲ、ソックリ其  
ノ儘今ノ文部大臣ガ踏襲サレテ、今ノ内閣  
ガ踏襲シタノデアリマスルカラ、只今申シ  
タヤウニ、只今ノ内閣ニ依ツテ、只今ノ文部  
大臣ニ依ツテ、之ヲ獨創的ニ御編成爲サツタ  
ノデハナイ、前内閣ノ是ハ全ク遺物ナンデ  
ス、由來文部省ト云フ所ハドウモ他力本願、  
大抵ノ事ハ餘所カラ持チカケラレテ、サウ  
シテ改正スルトカ進メラレルトカ云フ形ニ  
ナツテ、只今ノ兩案デモ、是迄ニ度々現レナ  
ケレバナリマセヌノニ、今日迄現レナカッタ  
ト云フコトハ、文部省獨創ノ意見ヲ以ツテ  
御出シニナルコトガ出來ナカッタ、始メテ  
今度ハ稅制ノ根本的改革、地方稅ノ改正、  
國稅ノ改正ガアツタカラ、申セバ大藏省ヤ内  
務省ノ突ク張リガアツタカラ是ガ出セタ、一  
昨年モ相當私論議シマシタガ、アノ青年學  
校ヲ慌テテ義務制ニナサツタ、何等ノ準備モ  
ナクノデ是ハイケナイコトダ、ドウシテモ、  
準備ナクシテサウ云フコトヲ爲サツテモ、果  
シテ行ヒ得ラレルカドウカト云フコトヲ申  
シタノデアリマスルケレドモ、アノ時ニハ、  
極メテ軍部ノ絶大ナル支持ノ下ニ慌テテ青  
年學校ヲ義務制ニ爲サツタト云フコトモ、是  
モ他力本願ナンデス、大抵文部省デ爲サル  
コトハ他力本願デス、ソレデ、サウ云フコ  
トハアリマス、マイガ、長ク文部行政ニ御關  
係ニナツテ居ルト、サウ云フ點ニ付テハ、或  
ハ小心翼々トシテサウシテ教育行政ヲ御ヤ  
リニナルノカモ知ラセヌケレドモ、固ヨ  
リ教育行政ト云フモノハ、極メテ小心翼々  
トシテサウシテ緻密ニ之ヲ考ヘナケレバナ  
リマセヌケレドモ、併シ教育ハ時勢ト伴ハ  
ナケレバナリマセヌカラ、ドウシテモ一面

ニ於テハ大膽ニ、一面ニ於テハ英斷ヲ以テ之ニ當ラナケレバ、到底教育行政ヲ爲サルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、失禮ナガラ、若シ之ヲ斷行スルコトガ出來ナカッタ、ソレ程ノ御決心ノ下ニ御企テニナツテソレガ出來ナカッタト云フコトニナルト、甚ダ文部大臣ノ資格ニ於テ缺クル所ナキヤ私ハ疑フノデス、ドウゾ此ノ點ヲ能ク御考ヘ願ヒマシテ、サウシテハドウシテモ將來ノ大國民ヲ養成スル教育ヲヤルノダ、東亞新秩序ノ建設ニ資スル人間ヲ拵ヘルノダト云フコトニ、ドウカ御反省下サレ、サウシテ教育ハ總テノ行政ノ根幹ニナルノダ、是ガ改正出來ナカッタナラバ、總テノ政治ニ關係スルノダト云フヤウナコト等ニ付テ、能ク一ツ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ成ル程師範教育ヲ向上シテ、サウシテ中等學校ノ卒業者ヲシテ師範學校ヲ卒業サシテ、サウシテソレヲ專門學校ノ程度ニスル、ソレカラ出テ來ル教員ノ待遇ハ、從テ中等學校ノ教員ト同資格ニスルト云フヤウナコトニナリマス、ソレニ要スル費額ト云フモノハソレハ夥シイノダ、併シナガラ、ソレダケノ事ハシヨウトシナケレバナラヌ今日ニナツテ居ル、長期建設、東亞ノ新秩序建設ト云フコトノ爲ニハ、相當費用ヲ抛ツテモ、ソレニ注イダナラバソレノ數十倍ノ利益ヲ得ルト云フコトニ、今日ハナツテ居ル、御承知通り、日本國民ノ教育ヲ受ケタ者ノ數ト云フモノハ、殆ド九割三分迄ハ小學校教育ノミヲ受ケタ人間デ、後ノ七分トカ六分ノ人達ガ中等學校カラ大學迄進ンデ居ラレル人ダト思フ、ソレハ大學ノ教育モ勿論大事デアリマス、ドウシテモ大學、專門學校ノ教育ヲ受ケタ人ハ、所謂國民ヲ指導スル立場デアリマスカラ、其ノ指導スルモノノ教育ハ最モ大事ナコトデアリマスケレドモ、ソレト同時ニ、國民全體ノ素質ヲ良クスルト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、國民全體ヲ良クスルノニハ、

ドウシテモソレヲ教ヘル教師ニアルノデアリマス、如何ニ制度ガ立派デモ、如何ニ課目ガ立派デモ、ソレヲ教ヘル教員ニ於テ缺クル所アレバ、ドウシテモ死ンダ法律ト云フモノハソコデ負ケテ取ルト云フコトハ自明ノ理ナンデアアル、ドウゾ此ノ點ヲ一ツ能ク御考ヲ願ヒタイ、就キマシテハ、此ノ程私質問シタ時ヨリ餘程時日モ経テ居リマスカラ、色々御考ガ加ハッテ居ルカモ知レマセヌ、致シマスノデ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ、ドウシテモ是ハ荒木文部大臣ガ昨年私ニ御約束下サッタヤウニ、來年ハ……今年ハモウ遅クナツタカラ仕方ガナイ、會期切迫ノコトデモアルカラ今年ハ追加豫算ハ出スコトハ出來ヌケレドモ、必ズ來年ノ豫算ニハ之ヲ計上シテ、サウシテ本末ヲ誤ラヌヤウニシテ、サウシテ東亞新秩序ノ建設ニ資スル積リデアリマスカドウカ、一ツ明快ニシテ大膽ナル御答辯ヲ得タイト思ヒマス、是ガ私ノ質問ノ要旨デアリマス

(國務大臣松浦鎮次郎君演壇ニ登ル)

○國務大臣(松浦鎮次郎君) 紀男爵ノ熱烈ナル御質問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマス、國民學校制度ノ實施ニ伴ヒマシテ、師範教育ノ向上ヲ圖リマスコトハ、申ス迄モナク極メテ必要ナコトデアアルノデアリマス、今回ハ差當リ現在ノ制度ニ於ケル師範教育ノ改善、又現在居リマス教員ノ再教育等ノ方法ニ依リマシテ、新タニ作ルベキ國民學校ノ教授ニ當ラセルト云フ差當リノ方法ヲ執ツタノデアリマスガ、併シナガラ國民學校ノ效果ヲ眞ニ擧ゲシメル爲ニハ、本格的ニ師範學校ノ向上ト云フコトヲ必要ト致スコトハ、是ハ紀男爵ノ御述ニナリマシタ通りデアリマス、現ニ教育審議會ニ於キマシテモ、左様ナ意味ニ答申モ得テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ國民學校ノ實施ト云フコトノ效果ヲ全カラシメル爲ニ、師範學校ヲ向上致シマシテ、之ヲ專門學校程度ニ致スルト云フコトハ、是ハドウシテモ致サナケレ

バナラスコトデアリマスノデ、私ハ今後此ノ目的ニ向ツテ最善ノ努力ヲ致シマシテ、來年度ノ豫算ニ於キマシテ之ガ必要ナル經費、是ハ道府縣デ經營シテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテハ國家カラ相當補助ト云フコトヲヤラナケレバ出來得ナイコトデアリマスガ故ニ、此ノ意味ヲ以テマシテ經費モ計上致スト云フヤウナ意味ヲ以テマシテ最善ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ドウゾ此ノ意味ニ於テ御了承ヲ願ヒマス

○男爵紀俊秀君 簡單デスカラ、此ノ席カラ發言ヲ御許ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 宜シウゴザイマス

○男爵紀俊秀君 只今文部大臣カラノ御答辯ヲ得マシタガ、依然トシテ私豫算總會デ御尋ネシマシタ時ノ御答辯ト變リマセヌ、言フコトハ皆賛成スル、併シスルコトハドウガカ分ラナイト、斯ウ結局ハソレニ歸スルノデス、言フコトハ尤モデアアルガ、ドウモ之ヲ斷行スルコトト云フモノハ、市町村費ヲ道府縣費ニ移シタリシテ居ルシ、サウ云フコトハ考ヘテ居ルト、斯ウ仰シヤルノデスケレドモ、私ハ適切ニ師範教育ノ改善ト云フコトヲ何時御ヤリニナルカト云フコトヲ伺ヒタカッタノデス、併シ是レ以上ハ幾ラ御尋ネシテモ仰シヤルマイト思ヒマスカラ差控ヘマスガ、ドウカ一ツ議會モ濟ミマシタラ御静養下サツテ、ユックリト此ノ問題ニ付テ篤ト一ツ御熟考ヲ下サツテ、サウシテ甚ダ不束デアリマスケレドモ、豫算總會ニ於テ、又本會議ニ於テ私ノ申述ベマシタル質問ノ速記録ヲ能ク御熟讀ヲ下サイマシタルサウシテ國家ノ爲ニ、文教振興ノ爲ニ、東亞新秩序建設ノ爲ニ、ドウカ一ツ一段ノ御反省ヲ願ツテ、サウシテ篤ト一ツ御熟考ニナリマスルヤウニ、切ニ私ハ熱望シテ私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 他ニ御發言

モナケレバ、兩案ノ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ御起立ヲ請ヒマス

(議員起立) ○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 全會一致ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 兩案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、兩案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、午後二時迄休憩ヲ致シマス

午後零時十二分休憩

午後二時九分開議

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ

ス

〔石橋書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案  
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案  
職員健康保險特別會計法案  
作業會計法中改正法律案  
造船局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新營擴張ニ要スル經費ニ關スル法律案  
昭和十三年法律第五十三號中改正法律案  
臺灣專業公債法中改正法律案  
臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

朝鮮專業公債法中改正法律案  
臺灣私設鐵道補助法中改正法律案  
政府出資特別會計法案  
陸軍航空工廠資金特別會計法案  
資金特別會計法中改正法律案  
昭和十三年法律第二十三號中改正法律案  
樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案  
樺太地方鐵道補助法中改正法律案  
陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案

市町村義務教育費國庫負擔法改正法律案  
現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案  
本日本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ  
昭和十三年度第一豫備金支出ノ件  
昭和十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件  
昭和十三年度特別會計豫備費支出ノ件  
昭和十四年度第二豫備金支出ノ件  
昭和十四年度豫備金外豫算外支出ノ件

昭和十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件  
昭和十四年度特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件  
本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
損害保險國營再保險法案可決報告書  
商業組合法中改正法律案可決報告書  
損害保險國營再保險特別會計法案可決報告書

○議長(伯爵松平賴壽君) 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、日程第三十一、職業紹介法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長侯爵徳川頼貞君  
職業紹介法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十五年三月二十二日  
委員長 侯爵徳川 頼貞  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
(侯爵徳川頼貞君演壇ニ登ル)

○侯爵徳川頼貞君 只今議題トナリマシタル職業紹介法中改正法律案特別委員會ニ於ケル經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、去ル二十一日正副委員長ヲ選舉致シマシタ後、引續キ會議ヲ開キ、委員諸君ハ慎重ニ審査ヲ盡サレタノデゴザイマス、先ヅ本改正案ノ委員會ニ於ケル政府ノ説明ノ要旨ヲ申上ゲマス、本改正ハ支那事變ノ進展ニ伴ヒ、各種勞務ノ需要ヲ充タス爲、且國家總動員法ノ勞務規正ニ關スル事務ヲ管掌スルコトトナリマシタノデ、地方財政ノ實情ヲ考慮シ、職業紹介所及ニ聯絡委員ニ要スル費用ノ一部ヲ現ニ地方負擔ト爲セル第七條ヲ削除シ、之ガ金額ヲ國庫ニ於テ負擔スルモノトデゴザイマシテ、尙第十四條ノ改正ハ、第七條ノ削除ニ伴フ字句ノ整理ヲ致シタト云フコトデゴザイマシタ、次ニ本委員會ニ於ケル質疑應答ノ概要ヲ申上ゲマス、一委員カ

ラ、職業紹介所及ニ聯絡委員ニ關スル費用ノ地方負擔ヲ廢止シ、國庫ガ負擔スル理由ハ何處ニアルカト云フ問ニ對シ、職業紹介所ノ國營ニスル際ニ豫定シタル以上ニ事務ノ内容ガ國家ニナリ、且今回中央、地方ヲ通ズル稅制ノ改正ニ依リマシテ、中央、地方負擔ノ區分ヲ立テル機會ニ於テ、全部ヲ國庫ニ負擔スルノガ當然デアルト云フ意味デ、本改正ヲ爲シタト云フ答辯デゴザイマシタ、其ノ他職業紹介所ニ依ル就職者ト、然ラザル就職者トノ率、及ビ之ガ關係、職業紹介所職員ノ待遇、職業輔導ノ實績等ニ關シ質疑應答ガゴザイマシタ、斯クシテ討論ニ移リマシテ、一委員カラ、現在ノ狀況ニ於テハ、勞務ノ分配ヲ宜シク制スルト共ニ、將來不況ニ依ル失業ノ生ズルヤウナ場合ニ於テ、當局ハ本法ノ運用上、之ガ萬遺憾ナキコトヲ期セラレタイト云フ御意見デゴザイマシタ、討論ヲ終リマシテ採決ノ結果、本案ハ全會一致可決致シマシタ、甚ダ簡單デゴザイマスガ、詳シイコトハ速記録ヲ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、以上御報告申上ゲマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ  
(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ハナイト認メマス  
○子爵植村家治君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス  
○子爵秋田重季君 贊成  
○議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ  
(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ  
(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○子爵植村家治君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス  
○子爵秋田重季君 贊成  
○議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ  
(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ  
(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 日本肥料株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長大隈侯爵  
日本肥料株式會社法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十五年三月二十三日  
委員長 侯爵大隈 信常  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
(侯爵大隈信常君演壇ニ登ル)

○侯爵大隈信常君 只今上程セラレマシタル日本肥料株式會社法案ハ、其ノ目的トスル所ハ、現下ノ肥料事情ニ鑑ミ、肥料ノ需給ノ圓滑ト價格ノ公正トヲ圖リマスコトガ一層緊要デアリマスノデ、茲ニ日本肥料株式會社ヲ設立致シマシテ、重要肥料ノ配給統制及供給確保ノ爲、必要ナル事業ヲ行ハシムトスルモノデアアルノデゴザイマス、即チ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ  
(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 日本肥料株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長大隈侯爵  
日本肥料株式會社法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十五年三月二十三日  
委員長 侯爵大隈 信常  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
(侯爵大隈信常君演壇ニ登ル)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ  
(〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)  
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(伯爵松平賴壽君) 日本肥料株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長大隈侯爵  
日本肥料株式會社法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十五年三月二十三日  
委員長 侯爵大隈 信常  
貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
(侯爵大隈信常君演壇ニ登ル)

日本肥料株式會社ハ、其ノ資本金ヲ五千萬圓ト致シマシテ、現在ノ日本硫酸株式會社及磷酸肥料配給株式會社ヲ統合致シテ、之ニ新ナル民間出資ヲ加ヘ、更ニ政府モ資本ノ半額ヲ出資致シマシテ設立致スモノデアリマス、其ノ事業ハ硫酸「アンモニア」、石灰、過磷酸石灰、加里鹽、其ノ他ノ重要肥料ノ一手買取及販賣ヲ致シマスルノ外、肥料ノ輸移出及輸入ヲ行ヒ、更ニ肥料製造、肥料製造工場ノ經營ノ管理、肥料製造事業ニ對スル投資等ノ、肥料供給確保上必要ナル事業ヲ行フモノデアリマス、而シテ本會社ニ對シマシテハ、其ノ資金調達ノ便宜ヲ與フル爲ニ、社債發行ニ付キマシテ商法ノ特例ヲ設ケテ、其ノ限度ヲ拂込株金額ノ五倍迄ト致シマシテ、其ノ元利ノ支拂ヲ政府ニ於テ保證致シマスル外、政府所有ノ株式ヲ劣後株ト致シマシテ、民間株式ニ對スル利益配當ヲ優先スル等ノ保護特典ヲ與ヘタモデアリマス、尙他面是ガ指導監督ヲ嚴重ニ致シマシテ、事業遂行上重要ナル事項ニ付キマシテハ、政府ノ認可ヲ受ケシムル等ノ措置ヲ講ジマシテ、又利益ノ配當ニ付キマシテモ之ヲ制限スルコトト致シテ居ルノデゴザイマス、更ニ肥料ノ製造業者、取扱業者ハ、其ノ製造又ハ取扱ニ係ル肥料ヲ、本會社ニ對シマシテ賣渡スベキ旨ノ規定ヲ設ケマシテ、以テ本會社ノ行ヒマスル配給統制事業ノ遂行ニ遺憾ナキヲ期シテ居ルノデゴザイマス、尙現在ノ日本硫酸株式會社ハ、一定ノ手續ノ下ニ日本肥料株式會社トナルコトヲ得ルコトト致シマシテ、之ニ伴ヒ硫酸「アンモニア」増産及ビ配給統制法中必要ナル改正ヲ行フコトト致シテ居リマス、而シテ委員會ニ於キマシテハ、委員ト政府トノ質疑應答ガ多クデアリマス、其ノ委細ハ速記録ニ讓リマス、只今其ノ主ナルモノニ二三ヲ申上ゲマスレバ、第一、肥料配給ノ圓滑ヲ圖リマスニハ、地方ニ於ケル配給機構ノ單一化、

又ハ配給段階ノ簡易化ヲ考慮スベキデハナカト云フ間ニ對シマシテ、政府ヨリハ地方ニ於ケル配給機構ヲ一層整備スルコトハ必要デアリカラ、肥料配給ノ實情ニ即シテ、更ニ改善ヲ加ヘテ行キタイト云フ答辯ガアリマス、第二、本會社ト云フ肥料ノ配給ヲ主トシテ、製造ヲ從トスルモノデアルノカ、或ハ肥料ノ製造ニ對シテモ同等ノ重點ヲ置クモノデアルカ、若シ肥料ノ製造ニモ重點ヲ置クモノトスル場合ニ於テハ、將來肥料増産ハ之ヲ專ラ本會社ノ製造事業ノ經營ニ依リ行ハシムルモノデアラカ否ヤ、即チ政府ガ本會社ニ依テ行ハムトスル肥料増産ノ方針ハ、將來ニ於ケル本邦肥料製造業者ノ發達ニ重大ナル影響ヲ持ツモノデアラカ、政府ノ所見如何ト云フ間ニ對シマシテ、政府ハ、本會社ハ生産事業及配給事業雙方ニ重點ヲ置クモノデアリマス、本會社設立後ニ於キマシテモ、一般民間企業ヲ壓迫スルコトヲヤウナコトハナク、寧ロ積極的ニ本會社ノ強大ナル資本、資金調達ノ特典及國策會社タルノ地位ヲ活用シテ、資本ノ投資等ニ依テ、一般民間企業ノ發達ヲ促進セシメ、肥料増産ノ實ヲ擧ゲテ行キタイト云フコトトデゴザイマシタ、第三、本會社ガ眞ニ國策會社タル所ノ使命ヲ完ウスルコトヲ得ル爲ニハ、其ノ役員ノ人選ヲ適正妥當ナラシメル必要ガアル、兎角何等其ノ道ニ經歷モナク、唯情實のニ人選スルヤウナ場合モ、是迄ナキニシモアラザリシコトデアッタガ、斯クハ如キコトハ大イニ慎重ニシムベキコトデアラウト思フガ、政府ノ所見如何ト云フヤウナ質問ニ對シマシテ、政府ハ、其ノ御趣旨ニハ全く同感デアラガ故ニ、其ノ人選等ニ付テハ最善ヲ盡シテ行キタイト云フ答辯デアリマシタ、第四ニハ、今肥料年度ニ於ケル肥料ノ供給ニ不安ガナキヤト云フ點デアリマシテ、之ニ付キマシテハ、政府ハ、本年春肥ノ時期即チ一月乃至七月ノ期間ニ於ケル硫酸等ノ統制肥料ニ

付キマシテハ、曩ニ各道府縣ニ割當テタルモノノ配給ニ付キマシテハ不安ハナイ、又有機質肥料ニ付キマシテモ、其ノ供給ノ確保ニ努メマスト共ニ、之ガ配給ノ適正ヲ圖リタイ、尙自給肥料ノ獎勵モ併セテ努力中デアリマス、ト云フ答辯デアリマシタ、斯クシテ討論ニ入りマシテ、一委員ヨリ、衆議院修正條項ノ削除ノ動議ガアリマシタガ、又他ノ委員ヨリモ其ノ動議ニ反對ノ意見ガアリマシテ、採決ニ入りマシテ、其ノ動議ハ少數ニ依リテ成立セズ、遂ニ衆議院修正案通り、多數ヲ以テ本案ハ可決スベキモノト議決シタ次第デアリマス、右御報告申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○子爵植村家治君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 委員長ヨリ報告書ノ提出セラレマシタ損害保險國營再保險法案、商業組合法中改正法律案、損害保險國營再保險特別會計法案ヲ、此ノ際議事日程ニ追加シ、一括シテ議題ト爲シ、第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ煩ハシタイト存ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス、委員長松村眞一郎君

損害保險國營再保險法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十五年三月二十四日  
委員長 松村眞一郎

商業組合法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十五年三月二十四日  
委員長 松村眞一郎

損害保險國營再保險特別會計法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
昭和十五年三月二十四日  
委員長 松村眞一郎

貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
委員長 松村眞一郎



〔松村眞一郎君演壇ニ登ル〕

○松村眞一郎君 只今上程セラレマシタ損害  
害保險國營再保險法案、損害保險國營再保  
險特別會計法案、商業組合法中改正法律案、  
右三件ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上  
ゲマス、損害保險國營再保險法案ト申シマ  
スノハ、其ノ目的トスル所、適用ノ範圍ト  
スル所、如何ナル場合ニ行ハレモノデア  
ルカト云フコトヲ概要申上ゲマス、戰爭其  
ノ他ノ變亂ニ際シ保險料ノ昂騰ヲ抑制シ又  
ハ保險ノ圓滑ナル引受ヲ確保スル爲必要アリ  
ト認ムルトキハ本法ニ依リ保險會社ノ引受  
クル損害保險ノ再保險ヲ行フト云フノガ、  
一ツノ場合デアリ、一ツノ目的デアリマス、  
即チ戰爭其ノ他變亂ニ際スル場合、サウシ  
テ目的トスル所ハ保險料ノ昂騰ヲ抑制シ、  
保險ノ圓滑ナル引受ヲ確保スルト云フノガ  
アリマス、第二ノ場合ハ「戰爭其ノ他」ノ變  
亂終了後ノ狀況ニ依リ保險會社ノ外國ノ保  
險者ニ對スル再保險取引ヲ困難又ハ不適當  
トスル事由アル場合ニ於テ政府保險ノ圓滑  
ナル引受ヲ確保スル爲必要アリシテ、認  
ムルトキニ行フト云フデアリマシテ、戰  
争其ノ他ノ變亂終了後ト云フコトニ、場合  
ハナツテ居リマス、目的トスル所ハ、前ノ場  
合ハ「保險料ノ昂騰ヲ抑制シ」ト云フコトガ  
アリマシタガ、此ノ場合ニ於キマシテハ  
「保險ノ圓滑ナル引受ヲ確保スル」ト云フ一  
ツノ目的ニナツテ居ルデアリマス、其ノ損  
害保險ノ種類及保險事故ニ關シマシテ、勅  
令デ定ムルト云フコトニナツテ居リマスガ、  
保險ノ種類ハ海上保險原則トスルコトニ致  
シテ居ルデアリマス、此ノ法律ハ恆久ノ  
法律デアリマスケレドモ、再保險ノ引受ヲ  
爲ス期間ノ始期及終期ハ、命令ヲ以テ定メ  
ルコトニナツテ居リマシテ、五月ノ下旬カラ  
開始スルト云フ豫定デアルト云フコトヲ、  
政府ハ説明致シテ居ルデアリマス、損害  
保險國營再保險特別會計法案ノ方ハ、國營  
再保險ヲ行ヒマスル所ノ歳入歳出ヲ、一般

會計ト別ニ會計ヲ致サウト云フノデアリマ  
シテ、事業經營ニ伴フ特別會計法案デアリ  
マス、以上二件ヲ一括致シマシテ、委員會  
ト致シマシテ質疑應答ヲ致シタノデアリマ  
ス、其ノ質疑應答ノ主ナルモノニ付テ申上  
ゲマス、第一ハ、此ノ保險ヲ經營スルニ當リ  
マシテ、國際收支ノ改善ノ爲、爲替政策ノ  
爲ニ行フヤウナコトガナイカト云フ質疑デ  
アリマス、之ニ對シマシテハ、本案ノ目的  
ハ保險料ノ昂騰ヲ抑制スルコトト、保險ノ  
圓滑ナル引受ヲ確保スルコトト云フコトトノ二  
ツノ目的デ行フノデアルガ故ニ、國際貸借  
ノ改善ト云フコトヲ直接ノ目的トシテ行フ  
ノデハナイノデアリ、政府ハ一般政策トシ  
マシテハ、國際貸借ノ改善ノ爲ニ、成ルベ  
ク再保險ハ外國ニ出サスト云フヤウナ意味  
ヲ施設ハ、平素カラ行ヒ來ツテ居ルデアリ  
マスケレドモ、ソレハ一般ノ施設デアツテ、  
ソレノ改善ヲ目的トシテ本法案ハ案ヲ作ツタ  
ノデハナイト云フ説明デアリマス、第二ノ  
點ハ、保險會社トノ關係ニ於キマシテ、國  
營再保險補償契約ト云フノヲ締結致シテ居  
ルデアリマシテ、民間ノ一會社ガ「プ  
リ」ヲ作りマシテ、サウシテ再保險ヲ引受  
ケ、依ツテ生ジタ損害ヲ政府ハ千萬圓ヲ限度  
トシテ補償スルト云フコトノ契約ヲ致シテ  
居ルノデアリマスガ、其ノ行ヒマスル所ノ内  
容ヲ探ツテ其ノ儘法律化シタモノデアルト云  
フ説明デアリマシテ、二十一保險會社ガ、  
自力ノ及バザルガ爲ニ政府ニ援助ヲ求メタ  
ノデアリ、其ノ狀態ヲ其ノ儘引受ケテ此  
ノ自由ニ保有スル範圍ハ自然ナキコトニナ  
ルノデアリ、ソレハ損害保險ノ中ノ戰爭危  
險ニ依ツテ問題デアリマスガ、第二ノ目  
的デアリマスル所ノ戰爭其ノ他ノ變亂終了  
後ニ於テ、外國ノ保險者ニ對スル再保險ノ  
取引ヲ困難又ハ不適當トスル場合ニ於テ民  
間トノ關係ハ如何、ト云フ點ニ於キマシテ  
ハ、元々政府ハ民間ノ及バザル所ヲ補フ

云フ趣旨デアリマスルガ故ニ、其ノ場合ト  
雖モ、民間業者ガ外國ノ再保險ニ付スルコ  
トハ困難デアルト云フ場合、不適當デア  
ルト云フ場合ニ於テ、民間ノ事業ヲ援助ス  
ル意味ニ於テ、政府ガ再保險ヲ引受ケルノ  
アルカラ、民間ノ力ヲ以テ且外國再保險ノ範  
圍迄喰ヒ入ツテ、政府ノ方デ再保險ヲ引受  
ケルト云フ考ハナイノデアリ、之ヲ要スルニ  
全般的ニ申シマシテ、政府ハ民力ノ及バ  
ザル所ヲ援助スルト云フ趣旨ニ外ナラナイ  
デアルト云フデアリマス、從ツテ戰爭危險  
ニ關シマスル現時再保險ニ付キマシテハ、  
原則トシテ全部政府ガ再保險ヲ引受ケル  
ト云フコトニナツテ居ルデアリマス、此ノ關  
係ニ於キマシテ、民間ノ一部ノ要望トシ  
テ居リマス自由ノ保有ノ範圍ヲ認メルヲ可  
トスルガ如キ意見モナイノデアリマス、  
マスガ、現在ノ制度ヲ其ノ儘變用スルトハ  
フ意味ニ於キマシテ、民間全部ノ希望トハ  
一致シナイト云フコトニナルト云フ意味ノ  
質疑應答デアツタノデアリマス、併シナガラ  
本件ニ關シマシテハ、第十二條ノ規定ニ斯  
カルコトヲ定ムルトスルノデアリマス、政  
府ハ本法ノ再保險事業ノ經營上特ニ必要  
アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保  
險會社ニ對シ其ノ引受ケタル保險ヲ本法ノ  
再保險ニ付スベキコトヲ命ズルコトヲ得」ト  
云フ條文ガアリマスル關係カラ、政府ガ再  
保險ヲ引受ケタ場合ニ、經營上必要アリト  
スレバ民間ノ保險ヲ吸收スルト云フコトニ  
出來得ル譯デアアルカラ、自然民間ノ事業  
政府ニ餘計ニ吸收スルト云フヤウナコトガ  
アリハ、シナイカト云フ意味ノ質疑應答ガア  
タノデアリマス、此ノ第十二條ノ規定モ、  
戰爭危險ニ付キマシテハ、現在ニ於テハ適  
用ノ必要ノナイ譯デアリマシテ、全部政府  
ニ再保險ヲ當業者ハ委託シテ居ルヤウナ現  
狀デアリマスルカラ、此ノ規定ノ適用ハ戰  
争危險ニ付テハ實際ニ起ラナイコトニナル  
譯デアリマス、結局スル所、戰爭終了後ニ於テ、

外國ノ保險者ニ再保險ヲスルコトノ困難ナル  
場合ニ於テ、政府ガ此ノ規定ニ依リ若シモ行  
キ過ギタル命令ヲ致シマシタ場合ニ於キマ  
シテハ、民業ヲ或ル意味ニ於テ壓迫スルト云  
フヤウナコトニナル譯デアリマスルガ、ソレハ  
政府ノ根本的ノ考トシマシテ、飽ク迄民  
業ノ足ラザル所ヲ補フノデアルト云フ趣旨  
ニ立脚シテ居ルコトト、政府ガ再保險ヲ引  
受ケマシタ以上ハ、再保險事業ノ經營上必  
要ナル或程度ノ分量ハ引受ケマセスト云フ  
ト、事業ノ經營ガ困難デアルトニナル譯  
デアリマスルカラ、其ノ事業ノ經營上必要  
ナル範圍ニ於テハ、之ヲ取入レルト云フ問  
題ハ起ル譯デアルト云フ意味ニ於テノ質疑  
應答デアツタノデアリマス、次ニ政府ノ再保  
險金額ヲ支拂フニ當リマシテノ責任ニゼザ  
ル場合ニ關スル關係、サウシテ保險料ノ低  
減ニ關スル關係、斯ウ云フ方面カラノ質疑  
應答ガアツタノデアリマス、是ハ保險會社  
ノ方面ノミナラズ、荷主ナリ船會社ナリノ  
被保險者ノ方面ヲモ併セテ考ヘマシテノ質  
疑ナノデアリマス、其ノ方面カラ質疑ノア  
リマシタ點ハ、第五條ニ斯カル規定ガアル  
ノデアリマス、政府ハ「左ノ場合ニ於テハ  
命令ノ定ムル所ニ依リ再保險金ノ全部又ハ  
一部ノ支拂ノ責任ニ任ゼズ」ト云フ規定ガア  
ルノデアリマス、其ノ中ニ「保險會社ガ法  
令上又ハ保險契約上ノ義務ナクシテ填補ヲ  
爲シタルトキ」ト云フ規定ガアルノデアリ  
マス、義務ナクシテ填補ヲ爲シタ場合ニ、  
政府ガ再保險金ノ全部又ハ一部ヲ支拂ハ  
ナイト云フコトヲ、法文ノ形式ノ解釋ニ若シ  
泥ミマシテ責任ヲ持タナイト云フ意味ノ支  
拂拒絕ヲ致シタ場合ニハ、實際保險會社ガ  
今日荷主ニ對シ保險金ヲ支拂ツテ居ル状態  
トハ異タルコトニナル虞ガアル、保險會社  
ガ被保險者ニ保險金ヲ支拂ツテ居リマス場合  
ニハ、餘リニ法令ニ拘泥セズシテ實情ニ即  
シテサウシテ保險金ヲ支拂フト云フ商慣習  
ガアルノデアリマス、其ノ慣習ヲ尊重スルコ

トニセラレナケレバ、政府ノ再保險關係ノ爲ニ、被保險者ト保險會社トノ關係ガ從來トハ異ツタルコトニナルノ虞ガアルト云フ意味ノ質問デアリマス、其ノ點ニ關シマシテハ、政府ハ十分商慣習ヲ尊重スルノデアル、義務ナクシテ支拂フト云フコトハ是ハ出來ナイケレドモ、義務アリヤ否ヤト云フコトヲ考ヘルニ付キマシテハ、條文ノ末ニ「ハレルト云フヤウナ態度デナク、商慣習ヲ十分酌ミ分ケテ、義務アリト認メタ場合ニ於テ支拂フトコトニスルノデアル、サウ云フ譯デアリマスルカラ、大體ニ於テ現在ノ狀態トハ異ル所ハナイト考ヘルケレドモ、一ツ問題トナルノハ、義務ナクシテ支拂フト云フ商慣習ガアル、此ノ點ニ付テ一ツノ區別ヲ生ズル譯デアリマス、保險會社ハ實際義務ハナイト思フケレドモ、將來ノ取引ノコトモ考ヘテ、營業政策上、後ニ埋メ合セガ付ク意味ニ於テ支拂フト云フ商慣習ガアルノデアル、ソレハ政府ハ拂ハザルコトニナルト云フ關係ニ於テ、如何デアアルコト云フ意味ノ質疑應答ニナル譯デアリマスルガ、政府ノ答辯ハ、義務アリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、十分ニ商慣習ヲ尊重シテ政府ガ支拂フトコトニスルノデアルケレドモ、營業政策上、後ニ於テ入レ合セガ付クト云フ意味ニ於テ商慣習、即チ義務ナキモノヲ支拂フト云フ商慣習迄ハ、政府トシテハ政府ノ專業關係トシテ認メルコトハ出來ナイノデアルガ、實際上ハ慣習ヲ重ズル結果、當業者ノ從來ノ營業關係ニ動搖ヲ加ヘルコトハナイノデアルト云フ意味ノ答辯デアリマシタ、只今申シマシタ所ハ、條文ニ付テ申シマシタ、第一條ニ於テ、目的範圍ノコトガ論ゼラレテ居ルノデアリマシテ、第五條ニ於テ、只今申シマシタ責任ノ問題ガ規定サレテ居ルノデアリマシテ、第十二條ニ於テキマシテ、政府ニ民間ノ事業ヲ取入レルト云フ規定ガアルノデアリマス、此ノ第十二條ニ付キマシテ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」トアリマスルノ

デ、其ノ勅令ノ定ムル内容ハ如何ナルモノデアアルカト云フコトノ質疑ニ對シマシテ、此ノ勅令ヲ以テ委員會ヲ設ケルノデアアル、サウシテ出來ルガク民間ノ經驗者ヲ加ヘマシテ、サウシテ政府ガ再保險ノ經營上必要ナリト認ムルモノヲ政府ニ取入レルヤ否ヤト云フコトニ付テ、審議セシメル積リデアルト云フ答辯ガアルデアリマス、以上ノ質疑應答ハ大體ノ點ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、一應ノ質問答辯ヲ終リマシテ、懇談ニ入ツタノデアリマス、特別委員ノミニ於キマシテ懇談ヲ致シマシタガ、更ニ商工大臣ノ出席ヲ求メマシテ、政府ノ意ノ在ル所ヲ十分ニ聽取致シ、更ニ特別委員ノミヲ以テ懇談ヲ致シタノデアリマス、懇談ヲ終リマシテ、委員會ニ於キマシテ更ニ質問ヲ續行致シタノデアリマスガ、其ノ際一委員ノ質問ニ對シマシテ、商工大臣ハ斯クノ如ク答ヘラレタノデアリマス、政府ノ本案ヲ施行スルニ當リテハ、第五條等ノ關係ニ付テモ實際ノ業界ニ於ケル從來ノ慣行ヲ重シ保險ガ圓滑ニ行ハル、コトニ十分努力致シマス、ト云フノデアリマス、質疑ヲ終リマシテ、討論ニ入りマシテ、一委員カラ贊成意見ヲ述ベラレルニ當リマシテ、斯クノ如キ陳述ガアルデアリマス、本法ハ運用宜シキヲ得レバ相當ノ效果ヲ擧ゲ得ルト考ヘル、運用ヲ誤レバ目的ヲ達シ得ナイノミナラズ、反對ニ惡影響ヲ生ズルノ虞ガ多分ニアル譯デアアルカラ、此ノ運用ヲ誤ルノ危險ノ大ナルコトヲ考ヘラレテ、政府ハ十分ニ此ノ運用ニ付テ注意ヲセラレタイト云フノデアリマス、サウシテ三項ヲ掲ゲテ政府ニ注意ヲサレタノデアリマス、ソレハ第一條ニアリマスル通り、本再保險ノ目的ハ、保險料ノ昂騰抑制ト、圓滑ナル引受確保ト云フコトガ目的デアアルデアアルカラ、ソレ以外ノモノハ目的トスベキモノデナシ、一般財政ノ關係ヨリ、或ハ爲替政策ノ爲ニ、之ヲ濫用セザルコトハ當然ノコトデ

アル、第二ニ、政府ハ第五條ノ適用、先程申シマシタ責任ナシト云フ場合ノ規定デアリマス、第五條ノ適用ニ付テモ斯界ノ慣習ヲ重シ、保險取引ガ圓滑ニ行ハレルコトニ毫モ支障ヲ來サザルヤウ深甚ノ注意ヲ拂ハレタイ、第三ニ、保險料ノ低下ト云フ點ニ付キマシテ、元受保險料ヲ定ムル際ニ、最高限度ヲ定メルト云フヤウナ方法ヲ執ッテ、一定ノ保險料ト云フコトデナク、サウ云フ方法ヲ執リ、又船體保險ノ場合ニモ、期間計算ノ方法ニ依ル保險料ニ致サズシテ、適當ニ期間計算ノ現在ノ考ヘ方ヲ變ヘルヤウニシテ貫ヒタイト云フノデアリマス、此ノ點ニ付テ申添ヘタイコトハ、質疑ノ中ニレハ關聯シタコトガアルデアリマス、ソレハ戰爭及ビ事變ノ爲ニ、航海ヲ致シマス所ノ船舶ガ戰爭ノ危險ヲ避ケムガ爲ニ航海日數ヲ多ク要スル場合ガアル、ソレガ爲ニ、期間ニ依ツテ保險料ノ定メガシテアル場合ニ於テ、之ガ爲ニ保險料ガ非常ニ多額ニナルト云フ關係ガアルノデアリマス、戰爭ヲ避ケムガ爲ニ生ズル損害ヲモ「カバ」スルト云フ所ノ意味ノ考ヘ方ヲセラレルベキデアルト云フ意味カラノ質疑ニ關聯致シテ居ルノデアリマス、尙他ノ委員カラ贊成ノ意見ヲ述ベラレルニ當リマシテ、斯クノ如キ陳述ガアルデアリマス、本法案ハ貿易並ニ海運ノ保護ニ付、現下ノ時局ニ於テ之ヲ實施スルコトハ緊要ト思フノデアリマス、併シナガラ第一條ノ後段、即チ戰爭及ビ事變後ニ於ケル再保險ノ問題デアリマス、此ノ再保險ヲ引受ケマスニ當リマシテ、極メテ文字ノ上ニ於テハ廣汎デアリ、且恆久的ニ再保險ヲ行フコトノ出來ルガ如キ感ヲ與ヘテ居ル所モアルノデアアルカラ、政府ハ此ノ條文ノ解釋如何ニ依リマシテハ、尙第十二條ノ適用、即チ自己ノ專業經營ノ中ニ取入レルト云フ其ノ十二條ノ規定ノ適用ノ如キモ、解釋如何ニ依リ、政府ノ考ヘ方如何ニ依リマシテハ、非常ニ廣クモナルコトニナルノ

デアアルカラ、條文ソレ自身ニ付テハ斯クノ如キ不安ナシトハ言ヘナイノデアリマスガ、政府委員及ビ大臣ノ言明ニ信賴ヲ致スノデアアルカラシテ、十分注意セラレテ運用上遺憾ナキヲ期セラレタイト云フコトヲ申添ヘラレマシテ、贊成ノ意見ヲ述ベラレタノデアリマス、損害保險國營再保險法案及ビ同特別會計法案兩案トモ、全會一致採決ニ於テ可決致シタ次第デアリマス、次ニ商業組合法中改正法律案ニ付テ申述ベマス所ハ、組合ニ對シマスル監督ヲ強化スルト云フ點、ソレハ統制ヲ行ツテ居リマスル商業組合ニ對シマシテノ監督ノ關係デアリマスガ、理事及監事ノ選任解任ヲ政府ニ於テ行フコトガ出來ルト云フコトニ定メテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ慎重ニ此ノ事ヲ行ハレタイト云フコトヲ希望ヲ以テノ質問ガアルデアリマス、第二ノ點ハ、商業組合ノ中デ出資ヲ爲サズシテ統制ヲ行ツテ居ルモノヲ統制商業組合ト云フ名稱ヲ附セヨト云フノデアリマス、商業組合ノ中ニハ、出資ヲ爲シテ仕入、保管、運搬ト云フガ如キ共同施設ヲ致シテ居ルモノ、且ソレガ第一種デアリマスガ、第二種ハ、其ノ共同施設ト共ニ統制ヲ行ツテ居ルト云フモノ、ソレカラ統制ノミヲ行ツテ居ルモノ、此ノ三種類アル譯デアリマスガ、其ノ統制ノミヲ行ツテ居ルモノノ統制商業組合ト云フモノト云フノデアリマス、之ニ對シマシテノ質疑應答ニ付キマシテハ、統制ト共同施設ト行ツテ居ルモノモ、亦統制商業組合ト稱シテモ差支ナキヤウナ考ヘ方モアルノデアアルカラ、必ズシモ統制ノミヲ行フモノヲ統制商業組合ト稱スルノハ、適切ナラザルヤノ感ガアルト云フ意味ノ質疑ガアルデアリマスガ、是ハ統制工業組合ト云フモノガ、既ニ法規ノ上ニ認メラレテ居ルノデアリマスルカラ、ソレニ做ツト云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ尙質疑應答

ノアリマシタ條項ヲ申上ゲマスガ、此ノ法案ニ於キマシテハ、商業小組合ト云フモノヲ認メルコトニ致シテ居ルノデアリマス、商業小組合ト申シマスルノハ、物資及物價ノ統制ニ付テ、商業組合ガ種々ノ働キヲ致シテ居リマスニ付キマシテ、小サナ商人ハ、其ノ商業組合ニ加入スルコトヲ致シテ居ラナイノデアリマス、力ガ十分デアリマセスカラ……、サウ云フ小サイ商人ヲ十人ヲ超エザルヲ例ト致シマシテ、商業小組合ト云フモノヲ組織セラレルコトノ制度ヲ茲ニ立テテ、其ノ商業小組合ガ一單位トナッテ商業組合員ニ爲スヤウニシタイト云フコトノ改正デアリマス、此ノ商業組合ノ範圍ハ如何ナル所ニ置イテ居ルカト云フ質問ニ對シマシテ、資本金三千圓以下ノモノヲ小商人トシテ考ヘル積リデアル、商法ニ於キマシテノ小商人ト申シマスルノハ、二千圓未滿トナッテ居リマスガ、本法案ニ於キマシテハ今申シマシタ如キ所ニ標準ヲ置クノデアルト云フコトデアリマス、次ニ店舖小商人、家庭ニ出入致シマス小商人ノ商業信託ノ向上、闇取引ノ防止ニ付テノ質疑應答ガゴザイマシタ、尙小組合ハ十人ヲ超エザルヲ例トシテ設ケルコト云フガ如キ小サナ組合デアリマスルガ、ソレニ理事ヲ置キ監事ヲ置キ且定款ヲ定メテ、普通ノ法人ヲ組織スルト同様ナ形ニ於テ組織致スヤウニナッテ居ルノデ、餘リノ煩瑣ニ互ラザルヤウ、且役員ニ付テ弊害ノ伴フ點ニ關シ注意ヲセラレタイト云フ意味ノ意見ヲ以テノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、此ノ組合ノ組織ニ付テハ、商業組合中央會ヲシテ十分ニ斡旋ヲセシメルコトニシ、役員ノ關係ニ付テハ十分ニ注意スル積リデアルト云フ意味ノ答辯ガアリマシタ、尙新シク加ヘムトスル所ノ規定ハ、商業組合中央會ニ商業組合監査員ト云フモノヲ置キマシテ、商業組合ニ所屬シテ居ル組合ノ事業及財産ノ狀況ニ付テ監査事業ヲ行ハウト云フ、自治監査制度ヲ樹テヨ

ウト云フ規定ヲ設ケムト致スノデアリマス、現在商業組合中央會ニ加入シテ居リマスモノハ、商業組合全部ノ略、半數ニ達シテ居ルト云フ狀況デアアル、全部ノ組合ノ數ハ、五千六百餘ニナツテ居ルノデアリマスガ、漸次中央會ニ加入スル數モ殖エル譯デアアルカラ、之ニ依ツテ指導ノ監督ヲ致シ、官廳カラ行ヒマス所ノ行政上ノ監督ト相俟ッテ、健全ナル發達ヲナサシメヨウト云フノデアリマス、其ノ他商業組合ニ對シマシテ、全國的ニ畫一的ニ偏セザルヤウニ指導スルノ必要アルベシト云フ意味ノ質問、共同施設ヲ爲スニ當リマシテ問題ノ事業トノ關係等ニ付キマシテノ質疑應答ガアツタノデアリマスガ、問屋ナル業態ノ存在ニ付キマシテハ、此ノ中間ノ存在ヲ止メテウマク行カナイヤウナ場合モ考ヘラレルノデアルカラ、實情ニ即シテ配給機構ノ段階ヲ整ヘル考デアルト云フ意味ノ答辯ガアリマシタ、尙商業組合員ガ共同仕入ヲ爲スヤウナ場合ニ於テ、債務不履行ヲ致シテ居ルヤウナ實情ハナイカト云フコトノ質問ニ對シマシテハ、サウシタ事例ハナイヤウニ思ッテ居ルト云フ答辯デアリマシタ、以上ノ如キ質疑應答ヲ重ネマシタ後ニ採決ニ入ツタノデアリマスガ、全會一致可決スルコトニ決定致シマシタ、以上三案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ申上ゲタノデアリマスガ、茲ニ申添ヘテ置キタイコトガアルノデアリマス、ソレハ損害保險國營再保險法案ノ關係ニ於テノ問題デアリマスガ、昨年ノ十月以來、政府ガ民間二十社ノ海上保險會社ト戰時海上保險補償契約ト云フモノヲ締結致シテ居ルノデアリマスルガ、是ハ豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約トシテ議會ノ協賛ヲ經テ居ルモノナルヤ否ヤト云フ點ニ付テノ問題デアリマス、政府ノ説明致シマス所ハ、一千萬圓ノ補償契約ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ昭和十四年度ノ豫算ノ中ニ貿易振興施設費ト云フモノガ二千萬圓アル、其ノ殘額ト、昭

和十四年度ノ總豫算ニ於キマシテ、會計法第十一條ノ規定ニ依リ翌年度ニ互ル契約ヲ爲スコトヲ得ベキ金額トシテ認メラレテ居ル四百萬圓ノ中カラ三百餘萬圓ヲ割イテ、合セテ一千萬圓トシテ此ノ補償契約ニ充テタノデアアルト云フ意味ノ大藏省ノ政府委員ノ答辯デアリマシタ、併シナガラ此ノ補償契約ト云フモノガ、果シテ貿易振興施設費ノ中ニ包含セラレ得ベキモノナリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、疑ガアルト思ハレルノデアリマスルシ、豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約トシテ、議會ノ協賛ヲ經ズシテテスクノ如キ契約ヲ締結シタルニ非ザルヤノ疑義ヲ委員長トシテハ持ツノデアリマスケレドモ、質疑應答ダケニ止メマシテ、委員會ニ付託ノ事項デモゴザイマセスカラ、其ノ以上別ニソレニ對シテ決ヲ採ルコトハ致シマセズデシタ、一應此ノ點ヲ併セテ御報告申上ゲテ置キマス、以上報告ヲ終リマス

- 議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵植村家治君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
- 子爵秋田重季君 贊成
- 議長(伯爵松平賴壽君) 植村子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(伯爵松平賴壽君) 三案ノ第三讀會ヲ開キマス、三案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ハゴザイマセスカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(伯爵松平賴壽君) 日程第三十三ヨリ日程第七十二迄ノ請願、會議

意見書案  
福岡縣嘉穗郡山田町大字上山田千二百十五番地農松岡運外六名呈出  
右ノ請願ハ、鑛害ノ賠償責任ハ昭和十四年鑛業法ノ改正ニ依リ明瞭トナリタルモ同法ノ實施ニ當リ尙賠償ヲ受ケ得サル耕地アリ且今期議會ニ提出セラレタル助成施設亦十分ナラサルヲ以テ速ニ鑛業被害耕地ノ復舊整理促進ノ爲請願者所案ノ如キ助成策ヲ樹立シ關係地元農民ノ救済ト農業生産力ノ確保増進ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

豫定線三股、上川間鐵道速成ノ件

北海道旭川市長足立富外一名呈出  
右ノ請願ハ豫定線三股、上川間鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農林、鑛產資源ノ開發並大雪山國立公園ノ觀光上多大ノ利便アルノミナラズ軍事並運輸交通上亦須要ノ線路ナルニ依リ速ニ同豫定線ノ工事線ニ編入シ之方完成ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

豫定線鶴岡、大烏間鐵道速成ノ件

山形縣鶴岡市長熊田周八呈出  
右ノ請願ハ豫定線鶴岡、大烏間鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農林、鑛產資源ノ開發並東北地方振興上客與スル所尠カラサルニ依リ速ニ之方實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

東武鐵道東上線買収ノ件

埼玉縣川越市長伊達德次郎外二十四名呈出  
右ノ請願ハ東京市池袋ヨリ埼玉縣寄居町ニ達スル東武鐵道東上線ハ八高線ノ開通ニヨリ高崎市ヲ經テ裏日本ニ通スル重要線路トシテ之方運用ノ適否ハ國防並産業上至大ノ影響ヲ及ホシ殊ニ帝都ニ於ケル通勤圈ノ擴大、工業ノ分散計畫等ニヨリ愈公益ノ重要性ヲ帶フルニ至リタルヲ以

テ速ニ同線路ヲ買収シテ其ノ機能ノ完整ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

長門鐵道西市驛ヨリ山口縣油谷灣又ハ山口縣下關市長松井信助外三十四名呈出

右ノ請願ハ山口縣長門鐵道西市驛ヨリ同縣油谷灣又ハ仙崎港ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル産業ノ發展ニ貢獻スル所大ナルノミナラズ山陰方面ト下關、九州方面トノ結ヲ捷徑トシテ運輸交通並軍事上裨益スル所亦尠カラサルニ依リ速ニ之方實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

北海道札幌市ニ少年審判所及矯正院設置ノ件

北海道虻田郡俱知安町南一條西一丁目一番地農小川原政信呈出  
右ノ請願ハ北海道ノ青少年ハ質朴ニシテ堅忍持久ノ精神ニ富ムモ環境ニヨリ放膽的氣風ニ流レ易ク殊ニ鑛山其ノ他ノ殷賑産業ノ勃興ニ伴ヒ無自覺裡ニ道德ヲ忘却シ法ヲ犯ス者増加ノ傾向ニ在ルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ之方對策トシテ少年審判所及矯正院ヲ札幌市ニ設置シ以テ青少年犯罪防遏方策ノ完備ヲ期セラレタシトノ

旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

西日本旱害救済ニ關スル件

福岡縣田川郡伊田町福岡縣田川郡農會長林田春次郎外六名呈出  
三重縣津市三重縣農會長小林嘉平治外八名呈出  
山口縣熊毛郡田布施町山口縣熊毛郡農會長國光五郎外百五十三名呈出  
福岡縣三井郡北野町福岡縣三井郡農會長川崎八二外十四名呈出  
奈良市長奈良縣農會長中山愷男外六十六名呈出  
岡山縣都窪郡妹尾町岡山縣都窪郡妹尾町農會長正保千代藏外五名呈出  
福岡縣宗像郡赤間町福岡縣宗像郡赤間町農會長石松治三郎外十八名呈出  
香川縣大川郡志度町香川縣大川郡農會長廣瀨小三郎外百三十六名呈出  
鳥取縣岩美郡浦富町鳥取縣岩美郡農會長西尾善孝外百五十一名呈出  
島根縣簸川郡今市町島根縣簸川郡農會長石橋正彦外十三名呈出  
奈良縣宇陀郡松山町奈良縣宇陀郡松山町農會長都司太右衛門外十三名呈出  
岡山市岡山縣農會長星島義兵衛外四十五名呈出

意見書案

岡山市岡山縣農會長星島義兵衛外四十五名呈出

右ノ請願ハ昭和十四年西日本一帯ヲ襲ヘル旱魃ハ其ノ被害激甚ニシテ農村ノ窮狀言語ニ絶スルモノアリ政府ハ曩ニ之方應急對策ヲ講セラレタルモ未十分ナラサルニ依リ速ニ確災農民ノ救済、農業生産計畫ノ遂行等ノ緊急對策ハ勿論斯ル大旱害ヲ防止スルニ足ル恒久的施設ヲ講シ以テ

農村民ヲシテ其ノ塔ニ安セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

總武本線錦糸町驛ノ操車線路撤去ニ關スル件

東京市本所區錦糸町三丁目九番地平民商小栗鏡朗外十五名呈出  
右ノ請願ハ東京市本所區錦糸町三丁目二番地先ノ總武本線錦糸町驛操車線路ハ深川區猿江町ヨリ本所區押上町ニ至ル所謂四ツ目通ヲ橫斷セル線路ニシテ交通遮斷ノ回数多キニ加ヘ其ノ時間長キ爲一般交通上不便大ナルノミナラズ物資輸送ノ不圓滑ヲ來タシ産業發展上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同線路ヲ撤去シ若シ之方不能ノ場合ハ線路下ニ地下道ヲ開設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日  
貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

國道六號線中ノ改良工事繼續事業ニ關スル件

福島縣平市長青沼鋒太郎外十二名呈出  
右ノ請願ハ國道六號線中福島縣石城郡勿來町ヨリ雙葉郡久之濱町ニ至ル道路ハ曩ニ單年度事業トシテ一部ノ改良工事ヲ施行セラレタルモ之方沿線ニハ豐富ナル物資ヲ擁スルノミナラズ近時軍需工業等ノ發展ニ伴ヒ交通量愈激増シ路面ノ破損著シキモノアルニ依リ昭和十五年度以後ニ

於テハ繼續事業トシテ其ノ改良ヲ圖ラレ  
タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體  
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法  
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

東北本線宇都宮、青森間複線敷設ノ件  
福島縣郡山市長村井八郎呈出  
右ノ請願ハ東北本線宇都宮、青森間ハ近  
時東北地方ニ於ケル各種商工業ノ勃興ニ  
伴ヒ物資ノ集散、旅客ノ來往繁劇トナリ  
タルニ拘ラス今尙單線ニシテ舊態依然タ  
ルモノアルハ運輸交通並産業上甚遺憾ナ  
ルニ依リ速ニ之カ區間ニ複線ヲ敷設セラ  
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大  
體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院  
法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

工場、鑛山ニ婦人監督官並女子勞務係  
採用ニ關スル件  
東京市四谷區尾張町五番地母性保護  
聯盟內平民千本木道子外一名呈出  
右ノ請願ノ近時生産力擴充ハ爲工場、鑛山  
就中重工業方面ニ就勞スル女子益増加ノ  
傾向アルニ鑑ミ速ニ直接女子勞務者ノ監  
督保護指導ニ當ル相當數ノ婦人ノ工場並  
鑛山監督官ヲ任用スルト共ニ女子勞務係  
ヲ使傭スル工場鑛山ニハ必ス女子勞務係  
ヲ採用スルヤウ之カ方針ヲ確立シ其ノ養  
成機關ヲ設ケテ母性保護ニ遺憾ナキヲ  
期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願  
意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因  
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候  
也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

直江津港ヲ第二種重要港灣編入ニ關ス  
ル件  
新潟縣中頸城郡直江津町長土肥善三  
外七名呈出  
右ノ請願ハ新潟縣中頸城郡直江津港ハ日  
本海沿岸ニ於ケル要港ニシテ近時各種工  
業勃興ニ伴ヒ貨物ノ吞吐逐年増加シ産業  
並國防上益重要性ヲ加ヘタルニ拘ラス港  
灣ノ設備不完全ニシテ船舶ノ出入、荷役  
ノ能率ヲ阻害シツツアルハ甚遺憾ナルニ  
依リ速ニ同港ヲ第二種重要港灣ニ編入ス  
ルト共ニ修築工事ヲ實施セラレタシトノ  
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス  
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五  
條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

中央本線木曾福島、高山本線久々野南  
驛間ヲ鐵道豫定線ニ編入ノ件  
長野縣西筑摩郡福島町長佐藤正太外  
五名呈出  
右ノ請願ハ中央本線木曾福島驛ヨリ長野  
縣三岳、開田、岐阜縣高根、朝日ノ四箇  
村ヲ經テ高山本線久々野驛ニ至ル鐵道ヲ  
敷設スルハ沿線地方ニ於ケル林、鑛、畜  
産等ノ資源開發上資スル所大ナルノミナ  
ラス信濃、飛騨ヲ連絡スル捷徑ニシテ且  
御嶽登山ノ要路ニ當リ交通上亦須要ナル  
ニ依リ之カ區間ヲ鐵道敷設豫定線ニ編  
入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願  
意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因  
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候  
也

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

石狩川治水事業促進ニ關スル件  
北海道樺戸郡新十津川村長東英治外  
五名呈出  
右ノ請願ハ石狩川本支流ノ治水施設ハ北  
海道ニ於ケル拓殖並産業進展ノ重要基幹  
ナルニ拘ラス之カ施工ハ今尙一部分ナル  
爲水禍年歲絶エス沿岸地方ノ打擊多大ナ  
ルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ請願者所案ノ  
如ク同川本支流ノ治水工事ヲ完成セラレ  
タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體  
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法  
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

石狩川治水事業促進ニ關スル件  
北海道樺戸郡新十津川村長東英治外  
五名呈出  
右ノ請願ハ石狩川本支流ノ治水施設ハ北  
海道ニ於ケル拓殖並産業進展ノ重要基幹  
ナルニ拘ラス之カ施工ハ今尙一部分ナル  
爲水禍年歲絶エス沿岸地方ノ打擊多大ナ  
ルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ請願者所案ノ  
如ク同川本支流ノ治水工事ヲ完成セラレ  
タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體  
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法  
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

石狩川架橋ニ關スル件  
北海道空知郡岩見澤町長高柳廣藏外  
三名呈出  
右ノ請願ハ北海道樺戸郡月形村ハ石狩川  
ノ右岸ニ位シ對岸空知郡美唄町、北村ト  
經濟上密接ノ關係ヲ有シ且相互ノ交通頻  
繁ナルニ拘ラス未橋梁ノ架設テク年來不  
安不便ナル渡船ニ依リノ外ナキハ同地方  
開發上遺憾ナルヲ以テ準地方費道厚田、  
岩見澤停車場線ト町村道峯延、月形港船  
場線ノ交又點ニシテ石狩川治水計畫ニ依  
ル新川切替ノ位置ニ橋梁ヲ架設セラレタ  
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ  
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第  
六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

小樽港三基埠頭築設促進ニ關スル件  
北海道小樽市長河原直孝呈出  
右ノ請願ハ小樽港ノ三基埠頭築設工事ハ  
曩ニ北海道第二期拓殖計畫ノ下ニ昭和十  
年度ヨリ同十六年度ニ至ル繼續事業トシ  
テ著手セラレタルニ拘ラス未第三號埠頭  
ノ著工ヲ見サルハ同港ノ機能發揮上遺憾  
ナルノミナラス同道ノ資源開發並産業  
貿易ノ進展上影響スル所少カラサルニ依  
リ速ニ之カ工事ニ著手シ計畫年度内ニ竣  
功セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願  
意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因  
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候  
也  
昭和十五年 月 日

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

北海道高島漁港築設ニ關スル件  
北海道小樽市長河原直孝呈出  
右ノ請願ハ北海道小樽港ノ港界線内ニ在  
ル高島港ハ古來同道ニ於ケル沿岸並沖合  
漁業ノ根據地トシテ樞要ノ地位ヲ占ムル  
ニ拘ラス今尙施設トシテ何等見ルヘキモ  
ノナキノミナラス從來漁船ノ碇繋ニ利用  
シ來レル小樽港モ近時飛躍的進展ニ伴ヒ  
港内狹隘ヲ感スルニ至リ爲ニ漁船ハ其ノ  
據點ヲ失ヒ斯業者ノ困窮多大ナルニ依リ  
高島港ヲ北海道第二期拓殖計畫ニ編入シ  
速ニ漁港施設ヲ實施セラレタシトノ旨趣  
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ  
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ  
依リ別冊及送付候也  
昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

小樽港臨港工業地域造成ニ關スル件  
意見書案

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
內閣總理大臣米內光政殿

意見書案

小樽港臨港工業地域造成ニ關スル件  
意見書案

北海道小樽市長河原直孝外三十九名呈出

右ノ請願ハ小樽港南防波堤ニ接續シテ港外朝里村地先公有水面ノ埋築及防波堤ノ築設ヲ爲スハ同港現時ノ情勢ニ鑑ミ緊要ナルノミナラス工業ニ必要ナル原料、燃料、勞力、交通等ニ於テ比類ナキ好條件ヲ具備セル小樽市ニ工業地帯ヲ造成スルニ最適ノ對策ナルニ依リ速ニ之カ事業ヲ北海道拓殖計畫ニ編入シ國費ヲ以テ速ニ施工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

國民健康保險組合ニ國庫補助金増額ノ件

北海道雨龍郡沼田村北海道雨龍郡沼田村國民健康保險組合理事長板東徳次郎外十名呈出

右ノ請願ハ國民健康保險組合ニ對スル國庫補助金ハ極メテ少額ナルノミナラス組合事業年度ノ進行ト共ニ遞減セラレルニ開クテハ到底之カ圓滑ナル運營期シ難キノミナラス延テハ大多數未設置町村ノ組合設立ニ支障ヲ生スルニ依リ同組合(代行法人ヲ含ム)ニ對スル補助金ハ事業年度ニヨリ遞減スルコトナク且金額ハ少クトモ現在ノ倍額以上ニ爲スト共ニ北海道ニ對シテハ其ノ特殊事情ニ鑑ミ格別ノ考慮ヲ拂ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案 小樽港ノ鐵道省第二期計畫促進ニ關スル件

北海道小樽市長河原直孝呈出 右ノ請願ハ北海道ハ近時工、鑛業ノ振興著シク殊ニ石炭ノ増産計畫顯著ニシテ之カ輸送施設ノ完備ハ喫緊事ナルニ依リ小樽港ニ於ケル鐵道省第二期計畫ハ速ニ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

北海道雨龍郡沼田村ニ國有種牡馬種付所設置ノ件

北海道雨龍郡沼田村長板東徳次郎外三名呈出

右ノ請願ハ北海道雨龍郡沼田、北龍、秩父別及多度志ノ四箇村ハ近時政府馬産計畫ノ實施方針ニ順應シ優良蕃殖牝馬ノ飼育熱勃興ト共ニ軍用供出馬ノ代馬トシテ轉入ノ牝馬漸増セルニ拘ラス今尙距離遠キ深川種付所ヲ利用セサルヘカラサル爲キ深川種付所ノ民間管理種牡馬ノ種付頭數遙ニ多數ヲ占メ住民ノ不利不便少カラサルニ依リ速ニ之等四箇村ノ中心沼田村ニ國有種牡馬種付所ヲ設置シ以テ産馬ノ改良發達ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

栃木、茨城兩縣ヲ貫流スル田川改修工

事關國庫補助ノ件

栃木縣宇都宮市長落合慶四郎外十名呈出

右ノ請願ハ栃木縣河内郡中部ヲ貫流セル田川ハ茨城縣結城町ヲ經テ鬼怒川ニ注ク河川ナルモ沿岸殆ト無堤ノ狀態ナル爲一朝豪雨ニ際會セハ忽チ出水シ耕地ノ崩壞相次テ生シ土砂堆積シテ河床ヲ嵩メ濁流氾濫シテ人畜、農作物、家屋等ノ被害少カラス而モ同川ニ於ケル灌溉用水ハ常ニ涸渴シテ引用難ニ陥レルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ之カ改修ニ對シ國庫補助ノ途ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

岩手縣閉伊川上流並支流改修ニ關スル件

岩手縣閉伊川上流並支流改修ニ關スル門外三名呈出

右ノ請願ハ岩手縣宮古港ニ注ク閉伊川ノ上流及其ノ支流長澤川、近内川ハ急流ナル爲一朝豪雨ニ際會セハ忽チ流域ノ一帶ニ氾濫シテ土砂ヲ流出スルニヨリ之カ改修ヲ爲スニ非サレハ下流及宮古港ノ改修ヲシテ其ノ效果ヲ失ハシムルニ至ルヲ以テ速ニ之カ改修計畫ヲ樹立實施スルト共ニ閉伊川改修既定計畫年度ノ繰上ケヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

岩手縣盛岡市、横黒線陸中川尻驛間ニ省營自動車運輸開始ノ件

岩手縣盛岡市長見坊田鶴雄外六名呈出 右ノ請願ハ岩手縣盛岡市ヨリ岩手郡本宮、太田、御所ノ各村及和賀郡澤内、湯田ノ兩村ヲ經テ横黒線陸中川尻驛ニ至ル間ニ省營自動車ノ運輸ヲ開始スルハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農、林、鑛産資源ノ開發上貢獻スル所多大ナルノミナラス遊覽、觀光上ノ利便亦尠カラサルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

岩手縣二戸郡福岡町、九戸郡久慈町間ニ省營自動車運輸開始ノ件

岩手縣九戸郡輕米町長島澤能太郎外十名呈出

右ノ請願ハ岩手縣二戸郡福岡町ヨリ同郡金田一、晴山、輕米ノ諸町村ヲ經テ九戸郡久慈町ニ至ル間ニ省營自動車ノ運輸ヲ開始スルハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農、林、鑛産資源ノ開發上資スル所大ナルノミナラス運輸交通上亦利便尠カラサルニ依リ速ニ之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽 内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

江差線江差、瀧瀬線瀧瀬ノ兩驛間鐵道敷設ノ件

北海道檜山郡上ノ國村字上ノ國百九十八番地漁業長谷川喜一郎外二千四百八十六名呈出

右ノ請願ハ江差線江差驛ヨリ瀧瀬線瀧瀬驛ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農、林、礦、水産等ノ資源開發上亦重要ナルニ依リ速ニ之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

造林國策樹立實施ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地全國山林會聯合會頭男爵東久世秀雄呈出

右ノ請願ハ我國ニ於ケル木材ハ近年産業ノ進展就中纖維工業ノ發展ニ伴ヒ需要著シク増加セルノミナラス山村ノ疲弊困憊ト林道開設ノ不備、森林金融ノ不振等ヨリ甚シク植伐ノ均衡ヲ失シツツアルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ帝國全經濟領域ヲ一貫セル木材需給計畫ニ對應スヘキ造林國策ヲ樹立實施シ以テ木材資源ノ保護、増殖ト國土ノ保安トニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

市町村立小學校教員加俸令中改正ニ關スル件

官報號外 昭和十五年三月二十五日 貴族院議事速記録第二十六號 請願會議

スル件

島根縣應邊郡大濱村大字飯原四百九十六番地平民吉田直方呈出

右ノ請願ハ市町村立小學校教員加俸令第三條ノ規定ハ公立學校教員加俸令ニ比シテ差等アル爲公立學校ヨリ市町村立小學校ニ轉シタル場合ハ之方恩典ニ浴セス支給額低減セラルルノ不合理アルニ依リ速ニ同令第三條ヲ改正シ公立學校職員ト同様ニ優遇セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

國民學校初等科第一學年ヨリモ筆習字ヲ課スルノ件

東京市大森區新井宿一丁目二千三百十五番地伯爵清浦奎吾外三十名呈出

右ノ請願ハ習字ハ情操ノ陶冶精神ノ修練上缺クヘカラルル學科ニシテ國民學校初等科ノ時ヨリ之方學習ヲ爲サシムルハ克ク膽大心小ノ工夫ヲ體得シ創作ノ念ヲ養成スルト共ニ靜沈ノ眞勇ヲ培養セシムル所以ナルニ依リ初等科第一學年ヨリモ筆習字ヲ課シ尙書方ナル名稱ヲ廢セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

鳥取縣千代川改修區域ニ關スル件

鳥取縣八頭郡河原町長谷口好藏外一名呈出

右ノ請願ハ鳥取縣千代川ハ曩ニ一部ノ改修工事ヲ施行セラレタルモ未改修區域タル八頭郡河原町大字稻常及同郡國英村大字片山ハ洪水毎ニ激甚ナル慘禍ヲ蒙ルノミナラス對岸ニ堅固ナル堤防築造サレタル結果從來ヨリ更ニ水禍ノ危險増大シ住民ノ不安甚シキヲ以テ速ニ兩部ヲ千代川改修區域ニ編入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

國道四號線中改良ノ件

岩手縣二戸郡福岡町長川嶋一郎外二名呈出

右ノ請願ハ國道四號線中岩手縣二戸郡石切所村ヨリ福岡町、爾薩體村ヲ經テ金田一村ニ至ル道路ハ逐年交通頻繁ナリ且省營自動車全通ノ曉ニハ愈交通量増大スルニ依リ速ニ該道路ヲ鋪裝工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

高知縣久万川改修ニ關スル件

高知市長川淵治馬呈出

右ノ請願ハ高知縣久万川ハ高知市ノ北郊ヲ貫流シ灌溉、排水並水運上重要河川ナルニ拘ラス其ノ流路屈曲狹小而モ護岸堤防脆弱ナル爲屢決潰溢流シテ其ノ及ホス損害激甚ナルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ之ヲ改修ヲ圖リ以テ産業ノ發展ニ資セラレ

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

山口縣玖珂郡柳井町ニ區裁判所設置ノ件

山口縣玖珂郡柳井町長小田周一呈出

右ノ請願ハ山口縣玖珂郡柳井町ニ在リシ區裁判所ハ曩ニ廢止セラレ爲ニ同郡西南部各町村及大島郡下各町村、熊毛郡一部町村ハ岩國區裁判所ノ管轄區域トナリタルヲ以テ住民ノ不利不便少カラサルニ依リ恰當ノ地柳井町ニ區裁判所ヲ復活設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

二戸區裁判所ニ專屬ノ判事ヲ置クノ件

岩手縣二戸郡福岡町長川嶋一郎呈出

右ノ請願ハ二戸區裁判所ハ昭和六年以降專屬ノ判事ヲ盛岡地方裁判所ヨリ毎月數回出張執務スル爲事務ノ遷延ヲ來スノミナラス其ノ圓滑ヲ缺キ地方民ノ不利不便少カラサルニ依リ同區裁判所ニ專屬ノ判事ヲ置カレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

豫定線一戸、荒屋間鐵道速成ノ件  
岩手縣二戸郡一戸町長熊谷平太右衛門外五名呈出

右ノ請願ハ豫定線一戸、荒屋間鐵道ヲ速成スルハ沿線地方ノ開發上貢獻スル所大ナルノミナラス太平洋方面ト日本海方面トノ聯絡並軍事上亦須要ナルニ依リ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

宮崎縣油津港ニ稅關監視署設置ノ件  
宮崎縣南那珂郡油津町長森迫熊市呈出

右ノ請願ハ宮崎縣南那珂郡油津港ハ同縣南海岸ニ於ケル海陸運輸ノ要衝ニシテ近時物資ノ輸移出激増セルノミナラス大型船舶ノ接岸荷役可能ナル岸壁工事中ニシテ之ノ完成ノ曉ハ運輸機能上劃期的躍進ヲ見ルニ至ルヘキヲ以テ速ニ關稅監視署ヲ設置シ輸出ノ圓滑増進ト地方産業ノ開發ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

福島縣日橋川改修並水門閉鎖權ニ關スル件  
福島縣耶麻郡鹽川町長佐藤登外七名呈出

右ノ請願ハ福島縣猪苗代湖ニ源ヲ發スル日橋川ハ會津盆地ニ於ケル重要河川ナルモ之カ水禍激甚ニシテ改修ヲ所望スルコト切ナルモノアリ近時同湖ノ湖面低下工事施行セラレルルヤニ聞クヲ以テ同川ノ改修ハ之カ低下工事ト同時ニ施行シ且十六橋水門ノ閉鎖權ヲ一水利組合ニ委スルハ甚遺憾ナルニ依リ之カ管理ヲ國家ニ還元セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

右ノ請願ハ島根縣美濃郡高津漁港ハ沿岸ニ好漁場ヲ控フルノミナラス朝鮮近海ノ大漁場ニ對シ最短距離ニ位シ且後方一帯ニハ近時諸工業ノ勃興ヲ見ルニ至リ同港施設ノ整備ヲ要望スルコト切ナルニ拘ラス今尙自然ノ河口ヲ利用スルニ過キサル爲船舶ノ出入碇泊上不利不便少カラサルニ依リ速ニ之カ修築工事ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

島根縣高津漁港修築ノ件  
島根縣美濃郡高津町長中島匡彌外二十名呈出

右ノ請願ハ島根縣美濃郡高津漁港ハ沿岸ニ好漁場ヲ控フルノミナラス朝鮮近海ノ大漁場ニ對シ最短距離ニ位シ且後方一帯ニハ近時諸工業ノ勃興ヲ見ルニ至リ同港施設ノ整備ヲ要望スルコト切ナルニ拘ラス今尙自然ノ河口ヲ利用スルニ過キサル爲船舶ノ出入碇泊上不利不便少カラサルニ依リ速ニ之カ修築工事ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

北海道函館港ニ港務部設置ノ件  
北海道函館市長齋藤與一郎呈出

右ノ請願ハ北海道函館港ハ國際通商上ノ重要地點ニシテ其ノ發展逐年著シキニ拘ラス港内ノ整備之ニ伴ハサル爲保安、衛

生、檢疫上ノ不便延テハ荷役運搬ノ不圓滑ヲ招來シ港灣ノ能率ヲ低下スルコト甚シキハ遺憾ナルノミナラス時局下防諜關係並外國船舶出入ノ監視ハ喫緊ノ要務ナルニ依リ速ニ同港ニ港務部ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

鶏卵ノ適正價格並養鶏飼料ニ關スル件  
横濱市神奈川區菅田町二千九百五十四番地養鶏業齋藤虎松外一名呈出

右ノ請願ハ養鶏業ハ農業經營、國家經濟、國民體位向上等ノ見地ヨリ輕視スヘカサル重要産業ナルニ拘ラス近時養鶏飼料ノ配給圓滑ヲ缺ト共ニ品質ノ低下、價格ノ昂騰ヲ來シ又卵價ハ諸物價昂騰ノ實情ニ副ハサルモノアリ爲ニ斯業ノ經營至難ナルニ至リタルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ卵價ハ其特質ニ鑑ミ適正價格ニ改ムルト共ニ養鶏飼料ニ付テハ請願者所案ノ如キ應急的措置ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

○議長(伯爵松平賴壽君) 是等ノ請願ハ、請願委員長ノ報告通リ採擇スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御報告ヲ致シマス  
コトガゴザイマス、只今内閣總理大臣ヨリ、本月二十六日迄二日間、帝國議會會期延長ヲ命ゼラル、旨ノ詔勅ヲ傳達サレマシタ、是ニテ本日ノ議事ハ全部終了致シマシタ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、議事日程ハ、彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、是ニテ散會ヲ致シマス  
午後三時十二分散會